

令和 5 年度

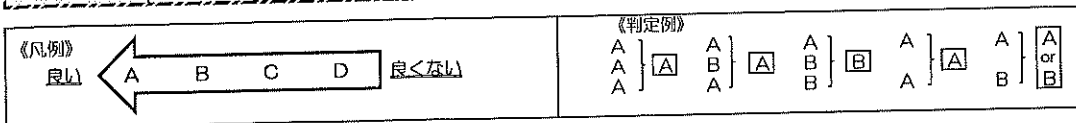
公民館事業評価

佐倉市立中央公民館	P. 1
佐倉市立和田公民館	P. 19
佐倉市立弥富公民館	P. 39
佐倉市立根郷公民館	P. 55
佐倉市立志津公民館	P. 73
佐倉市立臼井公民館	P. 91

事業名	みんなでワクワク書道パフォーマンス				
ジャンル	家庭教育	青少年教育	成人教育	団体育成	
事業分類	実際生活に即する教育 学術及び文化に関する各種の事業 (社会教育法第20条「公民館の目的」より)				
事業意図	住民の教養の向上 ・ 健康の増進 ・ 情操の純化 (社会教育法第20条より)				
事業目的	生活文化の振興 ・ 社会福祉の増進 (社会教育法第20条より)				
日程	令和5年8月2日(水)	講師	千葉県立佐倉東高等学校書道部	参加費	500円
対象者	小学4年~中学生	参加者数(延べ)	10人	募集方法	市広報、公民館だより、ホームページ、ポスター等
趣旨	佐倉東高等学校書道部との連携協力により、小・中学生を対象に大筆を用いた「書道パフォーマンス」を体験してもらうことにより、文字を書くことの楽しさと、伝統文化に対する理解や関心を高めることを目的とする。				
内容	①佐倉東高等学校書道部によるパフォーマンス ②参加児童・生徒による書きたい文字の練習・清書 ③参加児童・生徒による大筆を使ったパフォーマンス ④事業終了後に、夢咲くら館及び中央公民館で作品展示を行う				
工夫	①講師となる佐倉東高等学校書道部と綿密な打ち合わせを行った ②書道部員の意見を多く取り入れた(事業名称、大筆で書く候補文字、グループ分け等) ③参加児童・生徒に大筆で書く文字を決めてもらった				
成果	①日頃体験できない大筆を使ったパフォーマンス体験ができた(書道に対する関心が高まった) ②講師となった高校生、参加者である児童・生徒双方に、教え・教えられる喜びを感じることができた ③高校生の公民館事業に対するイメージ変化につながったのでは ④事業終了後の展示は、事業を周知する上で効果的であった				
課題	①募集人数に制約があった(パフォーマンスの都合上) ②募集方法のさらなる工夫が必要 ③事業中に書道家の香川松石(佐倉出身)を紹介する予定であったが、不十分であった ④高校生に過度の負担にならないよう事業内容、実施時期等の検討が必要				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> 公民館が行う必要があるか。 市民や利用者のニーズに合っているか。 目的や役割が薄れていないか。 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> 事業の優先度は高いか。
公平性	B	<ul style="list-style-type: none"> 対象者に情報は流れているか。 受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	A	<ul style="list-style-type: none"> 期待通りの成果が得られているか。 さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 市民の満足度は高いか。
効率性	A	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性はどうか。 事業運営に学習者が参画しているか。 他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。
特記		



次年度展望	②	①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了	②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他	③: 事業縮小
-------	---	-------------------------	----------------------------	---------

中央公民館・青少年教育事業

令和5年8月2日(水)実施

みんなであそぶわくわく書道パフォーマンス

❁ 事業の趣旨・目的

佐倉東高等学校書道部との連携協力により、小・中学生を対象に大筆を用いた「書道パフォーマンス」を体験してもらうことにより、文字を書くことの楽しみと、伝統文化に対する理解や関心を高めることを目的とする

❀ 事業のねらい ①

- 夏休み期間に実施している青少年教育事業をさらに充実させたい
- 特に、中学・高校生が参加できる事業としていきたい
- 普段、体験できないものを体験させたい。可能であれば、伝統文化に対する理解や関心を高める事業としたい

❁ 事業のねらい ②

- ・中央公民館では、以前より窓ガラスアートや道路アートなどで、地元高校生に公民館ボランティアとして協力していただいている
- ・一歩進めて、高校生自身が事業運営に楽しみながら参画してもらおう企画とする



高校生の公民館に対するイメージ変化につなげる

❁ 事業の組み立て

高校生を講師役

小・中学生は参加者

- ・ 公民館ボランティアの様子を見て、高校生は講師に適任と判断
- ・ 大人から教わるより、高校生から教わる方が新鮮で、フレンドリーな雰囲気の中で、学ぶことが出来るのではないかと

テーマ：書道パワーマジック

❀ 事業実施までの経過

- 佐倉東高校書道部へ意向打診 ※夢咲くら館開館せしモニーがヒント
- 事業内容の検討と必要器材（公民館と書道部で分担する）の確認
- 学校長に書道部員の派遣依頼
- 市の広報紙、ホームページ、公民館だより等を利用して参加者を募集
参加対象は小学校4学年～中学生 定員10人 参加費500円

❁ 事業内容

① 佐倉東高等学校書道部によるパフォーマンス
日向坂46「青春の馬」より

② 参加児童・生徒による書きたい文字の練習・清書

③ 参加児童・生徒による大筆を使ったパフォーマンス体験
「感謝」「挑戦」「飛翔」の中から「挑戦」を選択

※事業終了後、夢咲くら館等で作品展示、ユーチューブ
チャンネルで動画を配信

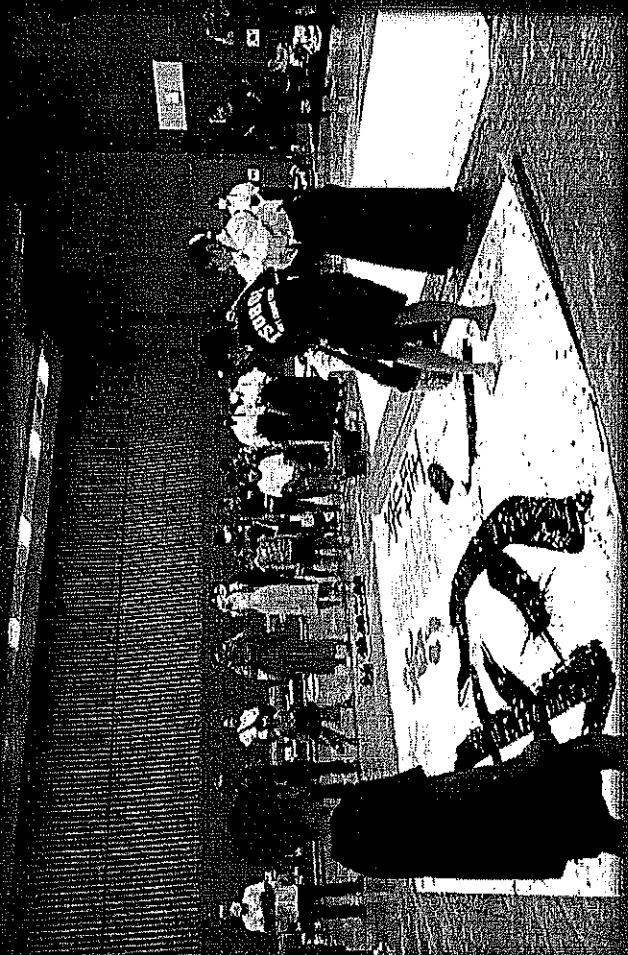
書道部によるパノオーマンス

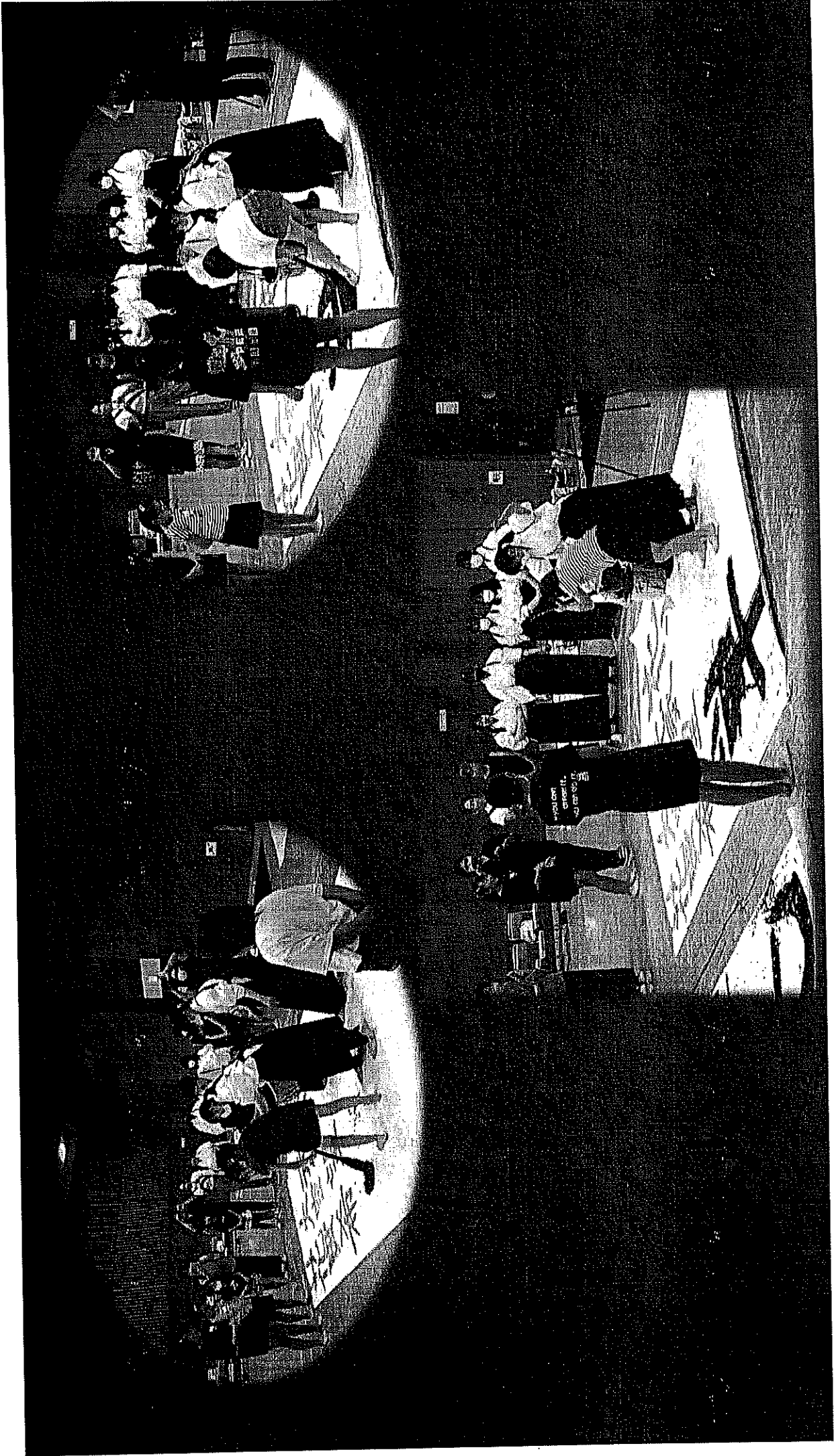


参加者の体験風景



大筆を使ったパフオーマンズ







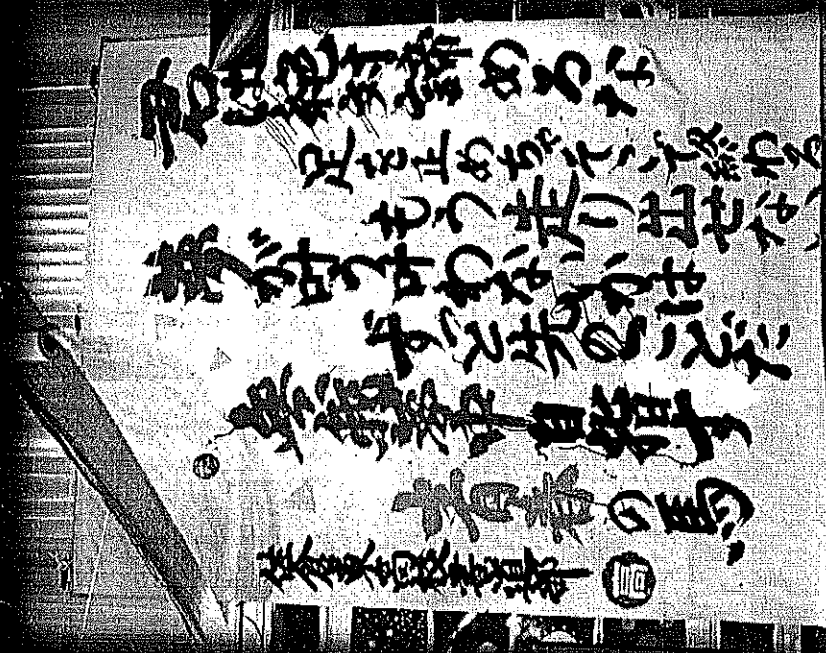
事業終了時の記念撮影

事業終了後の展示①



夢咲くら館エントランスホール
(8/8~8/27展示)

事業終了後の展示②



君は絶対諦めるな
足を止めちやんこで終わる
もう走り出せない
夢が叶う叶わないかは
ずっと先のことだ
無我夢中目指す
青春の馬
佐倉東高校書道部

中央公民館 1階ロビー
佐倉東高等学校書道部作品
(9/20~10/8展示)

❁参加者へのアンケート

①参加者の学年

小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	計
3人	5人	0人	2人	10人

②事業を知った媒体

こっほう佐倉	公民館だより	ちらし	ライン等	家族等の紹介	学校
3人	1人	3人	1人	1人	1人

③事業に対する満足度

楽しかった	少し楽しかった	あまり楽しくなかった	楽しくなかった
10人	0人	0人	0人

④次回への参加希望

はい	いいえ	どちらともいえない
9人	0人	1人

❁ 事業の評価と課題

良かった点

- ・ 普段できないパフォーマンス体験ができた (参加者)
- ・ 高校生に教えてもらえたことが新鮮だった (参加者)
- ・ 小さい子に書道を教える経験ができた (書道部員)
- ・ 機会があったらまたやってみたい (書道部員)
- ・ 作品展示等で事業を広く知ってもらったことができた

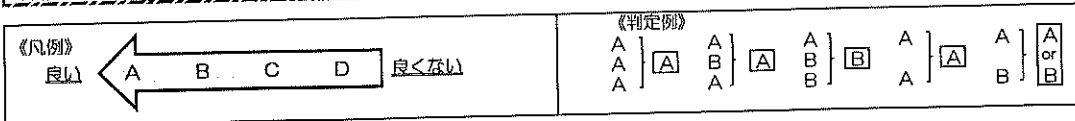
課題となった点

- ・ パフォーマンスの都合上、募集人数が制限された
- ・ 参加者募集のための周知方法に工夫が必要
- ・ 郷土の先人についての紹介が不足していた
- ・ 高校生との連携事業をさらに研究・検討すべき

事業名	令和5年度 和田市民大学 佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育	・	団体育成
事業分類	実際生活に即する教育 ・ <u>学術及び文化に関する各種の事業</u> (社会教育法第20条「公民館の目的」より)						
事業意図	<u>住民の教養の向上</u> ・ 健康の増進 ・ 情操の純化 (社会教育法第20条より)						
事業目的	<u>生活文化の振興</u> ・ 社会福祉の増進 (社会教育法第20条より)						
日程	令和5年1月～令和6年1月	講師	佐倉市文化課 文化樹班 須賀 隆章氏、林園園 林 重孝氏、佐倉市文化財審議会副委員長 遠山 成一氏、はたおり保存会	参加費	保険料1人800円		
対象者	一般	参加者数(延べ)	30	募集方法	広報誌、公民館だより		
趣旨	地域有識者・専門家等の指導・協力の下、和田地区の歴史・自然・民俗・産業等を学び、実際に体験することにより地域の魅力を再発見し、また地域課題の考察等を通して地域づくりの視野を広げ、今後の社会活動参加を促していく事を目的としている。						
内容	(1) 文化財がたつなく地域の歴史文化 (2) 有機農業の取り組みについて (3) 和田の古道 (4) はたおり体験						
工夫	古い歴史を持つ和田地区において、興味をもち、さらに知識を深めていくことを目的にしてテーマを広くし、歴史、農業、文化に関するもので組み立てた。						
成果	和田地区における歴史・文化に関する取り組みや知識等を講座や体験を通して、さまざまな視点から深めることができた。						
課題	和田地域学としている通り、内容が和田地区の歴史や成り立ちに基づくものとなるため、リピーターの参加者が多い反面、新規で応募される方の減少につながった。またテーマを広くしたため、参加者の興味が分散されてしまった。						

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	・ 公民館が行う必要があるか。 ・ 市民や利用者のニーズに合っているか。 ・ 目的や役割が薄れていないか。 ・ 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいのか。
優先性	A	・ 事業の優先度は高いか。
公平性	A	・ 対象者に情報は流れているか。 ・ 受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	B	・ 期待通りの成果が得られているか。 ・ さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・ 市民の満足度は高いか。
効率性	B	・ 事業の効率性はどうか。 ・ 事業運営に学習者が参画しているか。 ・ 他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。
特記		



次年度展望	②	①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了	②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他	③: 事業縮小
-------	---	-------------------------	----------------------------	---------

事例発表：成人教育事業
佐倉学講座
楽しく学べる和田地域学

和田公民館

学習テーマと日程等						
	学 習 テ マ	期 日	時 間	会 場	講 師	
1	オリエンテーション 文化財がっなぐ地域の歴史文化	9/23 (土)	9:10～受付 9:30～11:30	和田公民館	佐倉市文化課 文化財班 須賀 隆章氏	
2	有機農業の取り組みについて (1)	10/22 (日)	9:30～11:30	和田公民館	林農園 林 重孝氏	
3	有機農業の取り組みについて (2)	11/12 (日)	9:30～11:30	林農園の畑	林農園 林 重孝氏	
4	和田の古道	12/23 (土)	9:30～11:30	和田公民館	佐倉市文化財審議会 副委員長 遠山 成一氏	
5	はたおとり体験	1/20 (土)	9:30～11:30	和田ふるさと館	和田はたおとり保存会	

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、面積は市全体の14%に当たる14.4平方キロメートル、人口は約1%に当たるとる1,594人（令和5年12月末現在）

農家の主な産物は、大正頃までは米、養蚕、昭和初期に里芋・落花生・甘藷、戦後に養豚へと変化。さらに養豚・酪農・大和芋と専業化されたが、最近では年々農業従事者は減少し、人口も減少傾向にある。

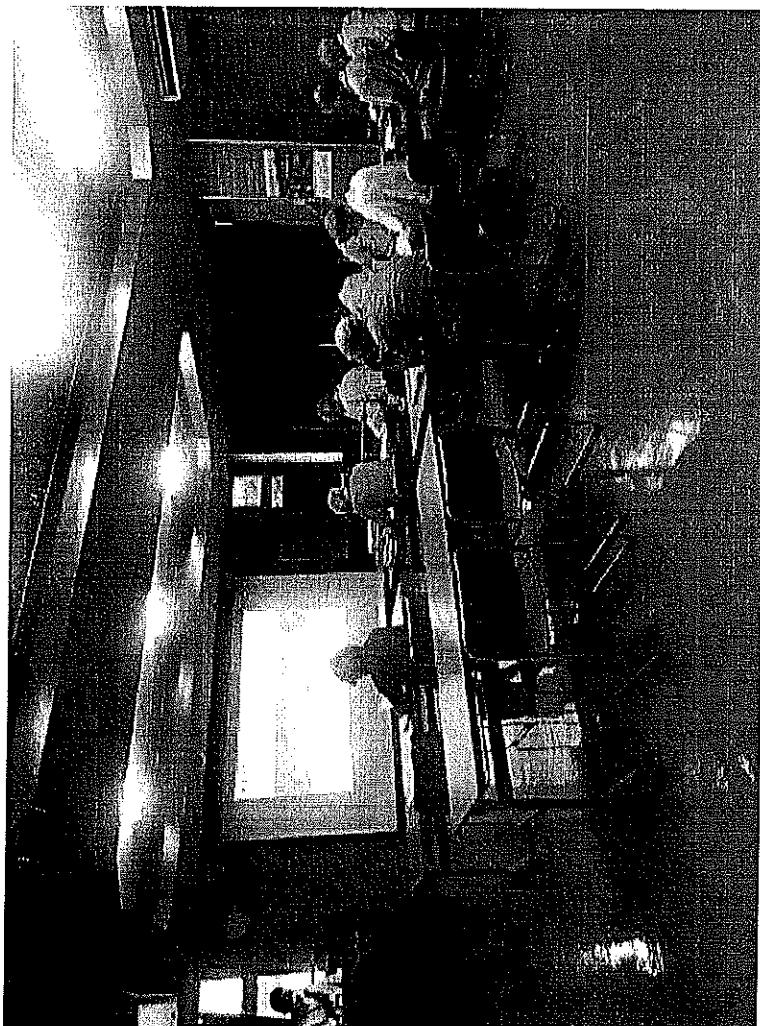
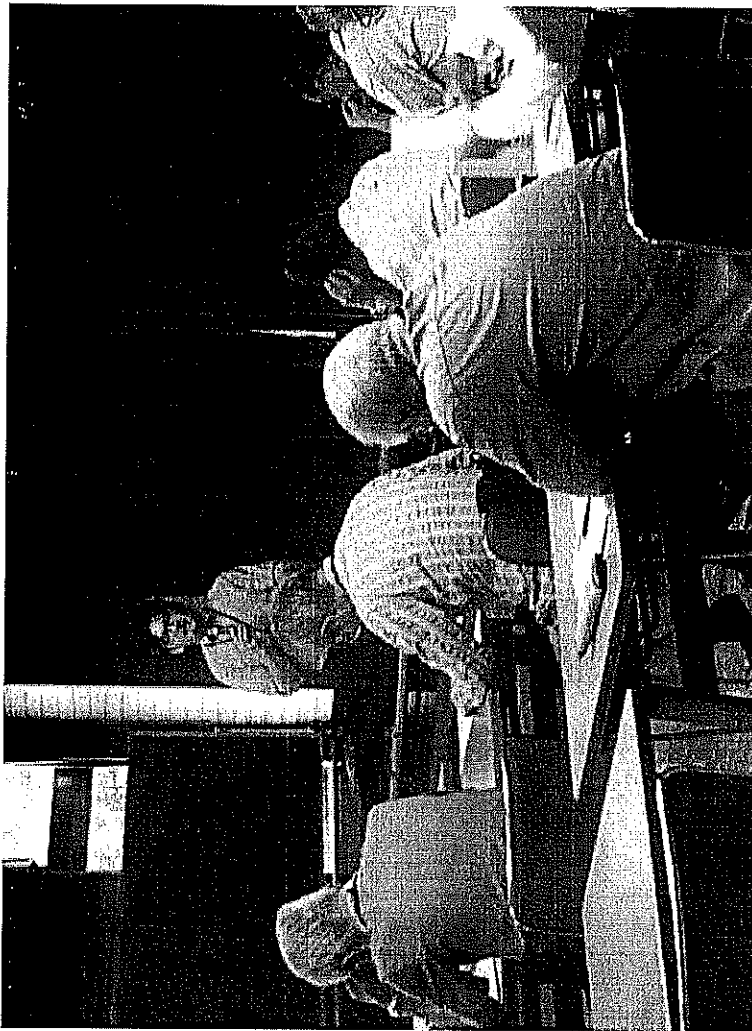
文化財がっなぐ地域の歴史文化

講師 佐倉市文化課 文化財班 須賀 隆章氏

- 宝金剛寺保管
- ・ 牡丹蓮華唐草模様七條袈裟横被付
(ぼたんれんげからくさもようしちじょうけさおうびつき)
 - ・ 亀甲梅椿模様七條袈裟横被付
(きっこうめつばきもようしちじょうけさおうびつき)

約400年前北条氏勝（戦国武将・近世大名）が寄進

- (1) 文化財的価値とは
 - ①文化財保護法上の位置づけ
 - ②評価の主眼：歴史的価値
 - ③評価の主眼：美術的価値
- (2) 修復・保存の意義
- (3) 共感を生むための活用



有機農業の取り組み (1) (2)

講師 日本有機農業研究会副理事長 林 重孝 氏

林農園

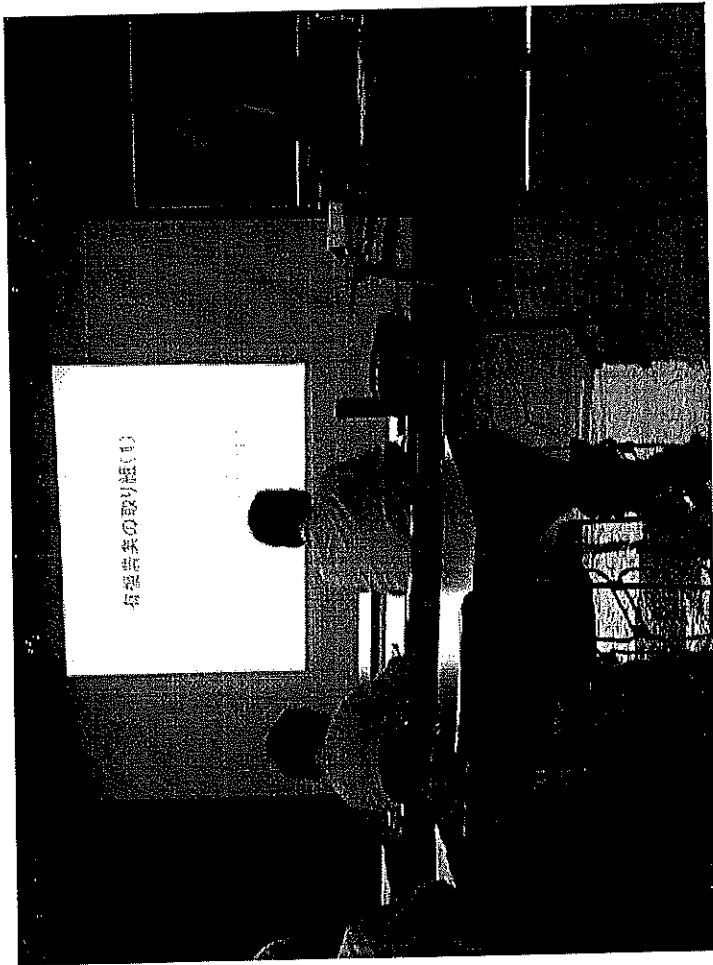
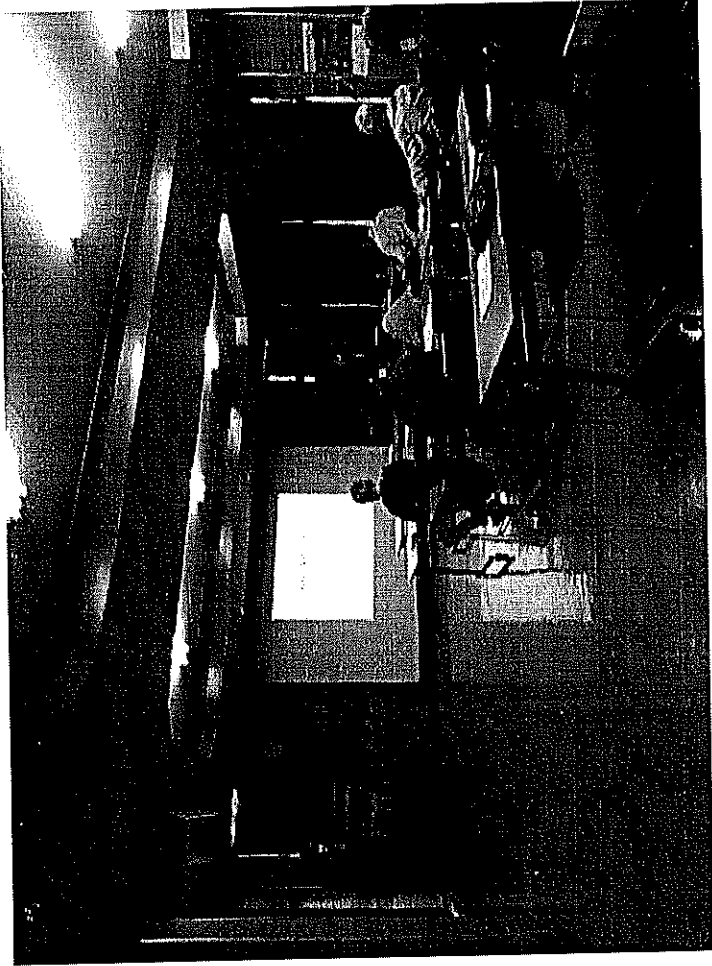
昭和55年から有機農業への取り組みを開始
野菜類、小麦、大麦、大豆、小豆、栗など合計約80品目
平飼い養鶏……150羽

作付面積……2.4ha

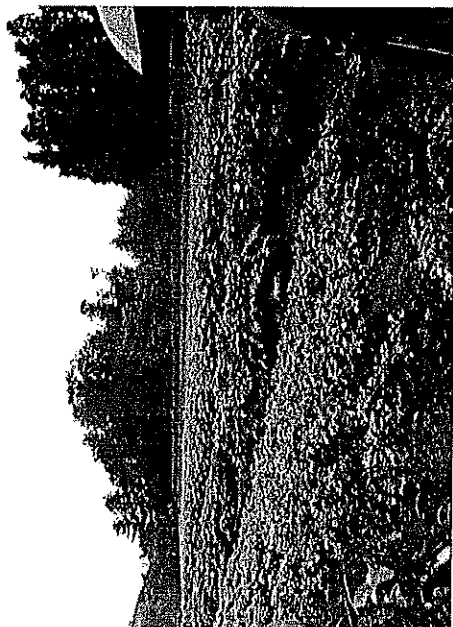
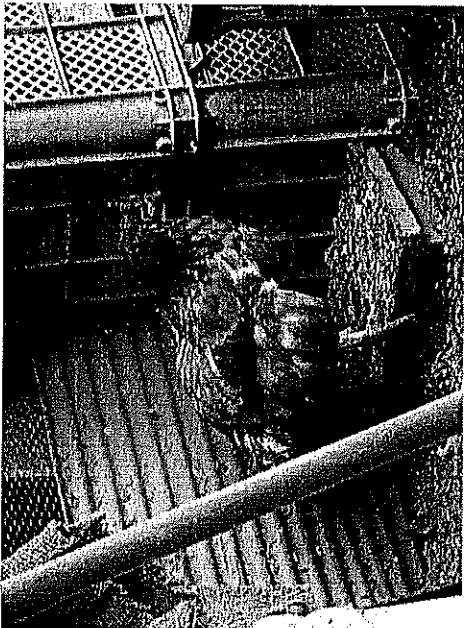
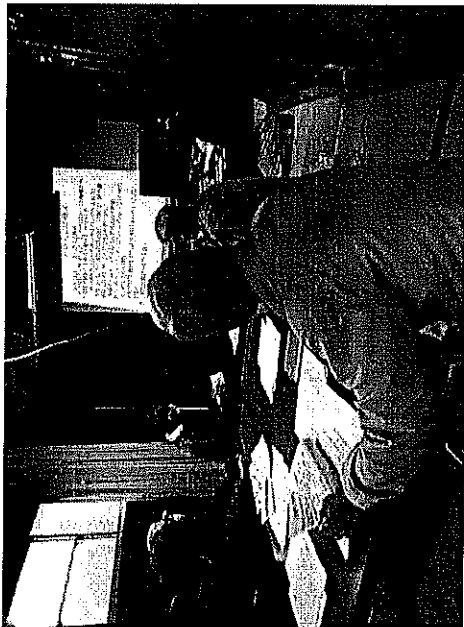
販売先は近隣のレストランなど、消費者130軒に直接届ける
(一部は宅配使用)

有機農業の取り組み（1）

- 「有機農業」とは
- 旬を食べる意味
- 「身土不二」
- 自給自足を基本
- 人間は何を食べるべきか etc



有機農業の取り組み(2)



和田の古道

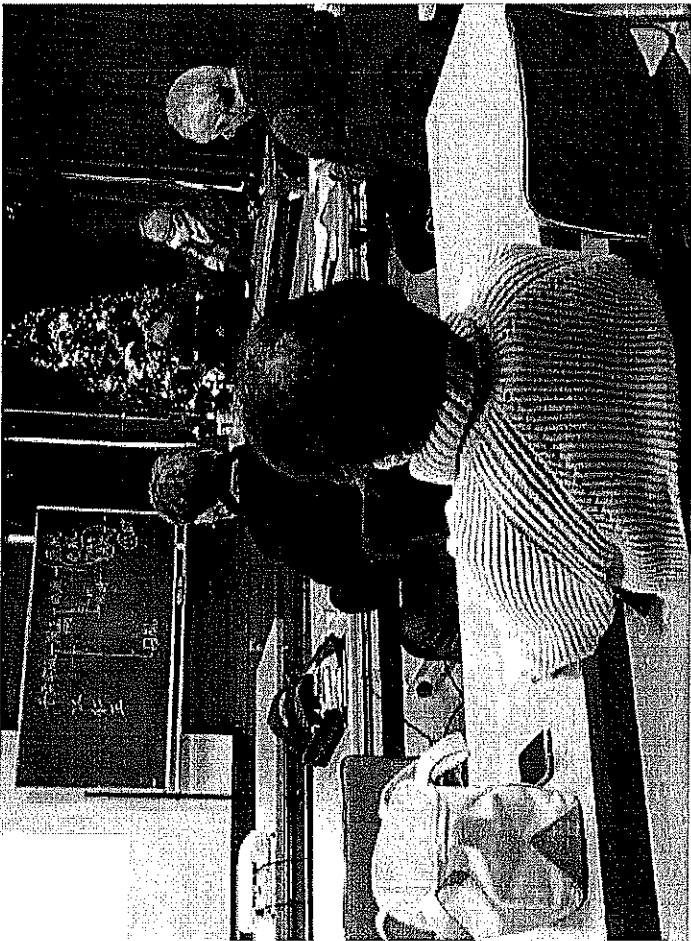
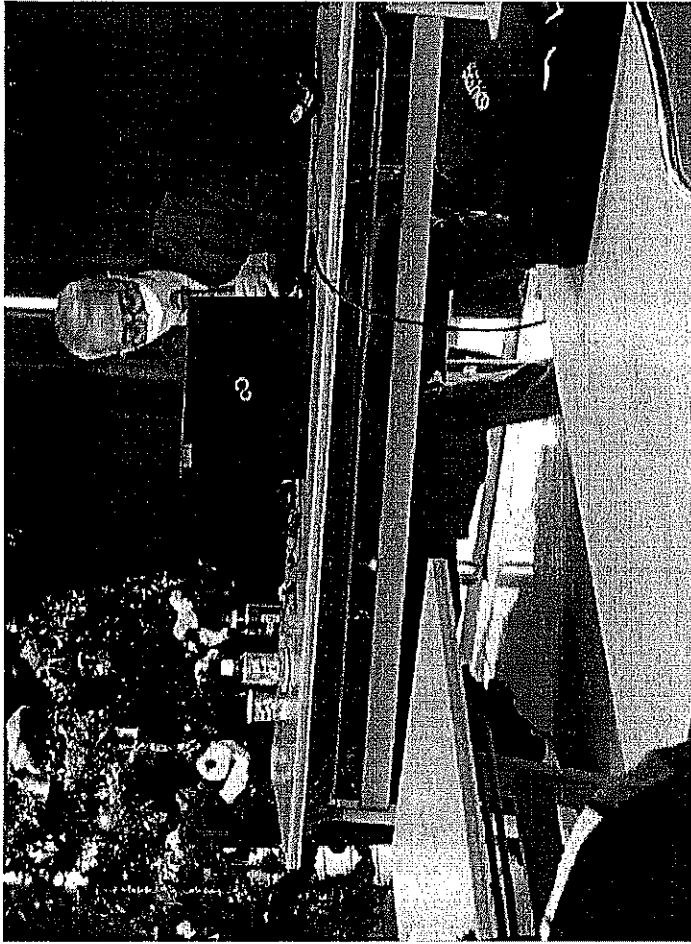
講師 佐倉市文化財審議会副委員長 遠山 成一 氏

古東海道→Ⅰ期 大宝律令の施行頃（701年完成）より771年、
Ⅱ期（772～805年）

相模国から東京湾を渡海し、内房を北上して、河(かわ)曲(わ)駅
の手前で東方向に向きを変え、鳥取(ととり)駅（佐倉市神門・木
野子周辺が推定地）に向かった。次の山方(やまかた)駅は成田市
が推定地とされる[千葉県2001]。

→香取路（かとりじ）

◇鳥取駅と山方駅との間が、まさに和田地区に該当する



はたおり体験

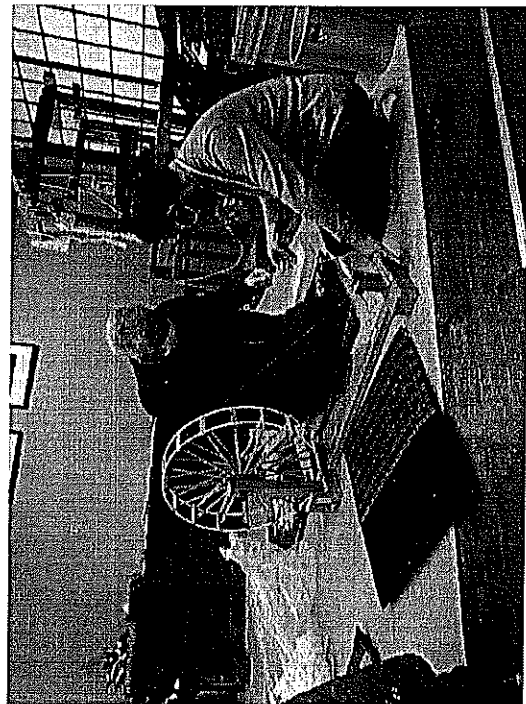
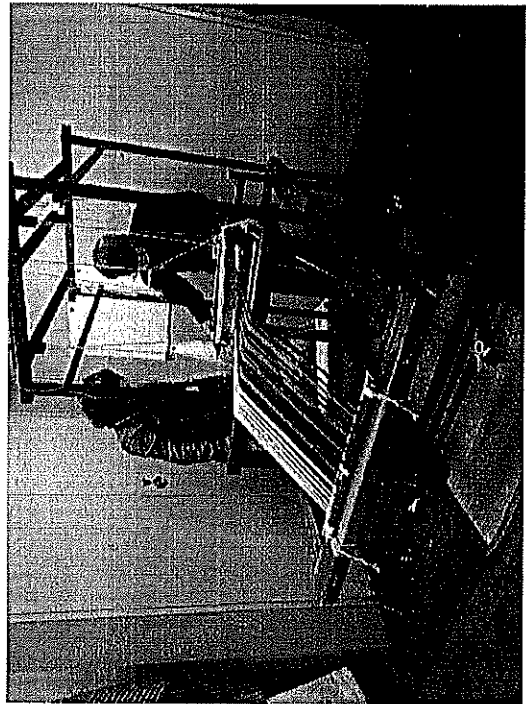
講師 和田はたおり保存会

昭和52年4月に「和田はたおり保存会」発足

主な活動内容

- ・市内公民館等での作品展示
- ・市内小学校（3年生）からの社会科見学の受け入れ
- ・夏休み親子体験教室

etc



事業の検証

和田地域学 = 和田の歴史に基づく

リピーターは多いが…

テーマごとに興味を持つ人は異なる？

今後の展望

テーマを絞るのか？

— 一見無関係でもすべて和田の歴史

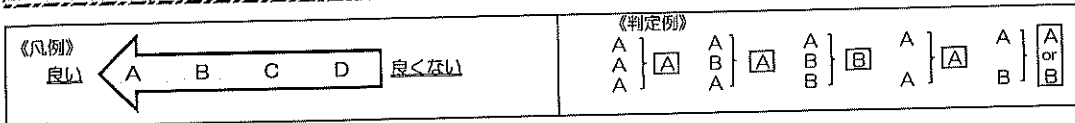
テーマ同士の関係性・関連性をアピール

ご清聴ありがとうございました

事業名	MY定期講座 「睡眠」と「健康」の知恵袋講座						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育	・	団体育成
事業分類	実生活に即する教育 ・ 学術及び文化に関する各種の事業 (社会教育法第20条「公民館の目的」より)						
事業意図	住民の教養の向上 ・ 健康の増進 ・ 情操の純化 (社会教育法第20条より)						
事業目的	生活文化の振興 ・ 社会福祉の増進 (社会教育法第20条より)						
日程	①令和5年10月14日(土) ②令和5年10月21日(土)	講師	明治安田生命保険相互会社成田支社 チーフ・コンシェルジュ 橋田 菜和	参加費	なし		
対象者	成人	参加者数 (延べ)	①12人 ②13人	募集方法	こうほう佐倉 佐倉市公式LINE 公共施設へのポスター掲示・チラシ配布 佐倉市ホームページ		
趣旨	佐倉市と明治安田生命保険相互会社との間で締結された包括連携協定に基づき、地域課題の解決のための講座を実施する。 現代は睡眠の悩みを抱えている方は数多い。睡眠と健康の意外な関係を紹介する。						
内容	①人生100年時代！くらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋 睡眠についての正しい知識を「知る」、よりよい睡眠をとるための方法を「実践する」、自身にとってのよい睡眠を「実感する」ことで、自身に最適な睡眠を考える機会とした。 ②よい睡眠とれていますか？ちょっとした工夫で睡眠満足度アップ！ より良い睡眠をとるための睡眠環境－寝具・寝室環境－と、睡眠の悩み別一夜中に目が覚める・寝つきが悪い・朝早く目が覚める－の解決法について。						
工夫	・明治安田生命相互保険会社が提供する「MY定期講座」では、健康や生活に関する様々な講座や講習会等を行うことで、地域住民のコミュニティ活動・社会参画を継続して支援している。テーマは様々あるが、人々の関心が高いと思われる「睡眠と健康の関係」を選定した。 ・参加者募集にあたり、それまで弥富公民館では活用頻度の低かった佐倉市公式LINEに募集記事を掲載した。						
成果	・講座の合間にミニゲームやストレッチもあり、また、講師の分かりやすい話により、楽しく学ぶことができた。 ・講座開始前と休憩中に、講師側が、希望する参加者に、手から血管年齢や老化物質AGEs等を推定する診断を行ってくれた。自身の健康状態が分かることで、今回のテーマである「睡眠」に気を配る一助になった。 ・事後のアンケートでは、「睡眠への理解が深まった」「睡眠の悩みが解消されそう」「学んだことを早速実践したい」など、肯定的な意見が多かった。 ・官民連携事業として、今後も継続していきたい。						
課題	参加者が集まりにくい。各回30人を募集したが、どちらも実際の参加は半数に満たない。会場（弥富公民館）へのアクセスが車または本数の少ないバスに限られること、また、当方の事業を周知する広報努力がいまひとつ足りないことが考えられる。対策として玄関近くに当館までのバスアクセスの表を掲示し、また、事業周知のため佐倉市公式LINEの活用やポスターの商業施設への掲示を積極的に行う努力が必要と考える。						

【公民館による事業評価】

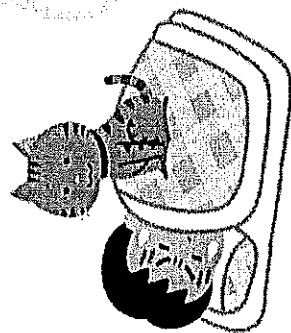
項目	評価	視点
必要性	A	・公民館が行う必要があるか。 ・市民や利用者のニーズに合っているか。 ・目的や役割が薄れていないか。 ・事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	・事業の優先度は高いか。
公平性	A	・対象者に情報は流れているか。 ・受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	A	・期待通りの成果が得られているか。 ・さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・市民の満足度は高いか。
効率性	A	・事業の効率性はどうか。 ・事業運営に学習者が参画しているか。 ・他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。
特記		



次年度展望	②	①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了	②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他	③: 事業縮小
-------	---	-------------------------	----------------------------	---------

佐倉市・明治安田生命保険相互会社包括連携協定事業

MY定期講座 「睡眠」と「健康」の 知恵袋講座



佐倉市立弥富公民館

① 発表の流れ

1. 「佐倉市・明治安田生命保険相互会社
包括連携協定事業」とは

2. 講座の概要

3. 実施内容

4. 成果と課題 今後に向けて

1. 「佐倉市・明治安田生命保険相互会社 包括連携協定事業」とは

佐倉市と明治安田生命保険相互会社は、令和3年1月21日に、緊密な相互連携及び協働による活動を推進し、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、佐倉市民の健康増進や市民サービスの向上を図ることを目的に、包括連携協定を締結しました。

連携事項

- (1) 健康増進・疾病予防に関すること。
- (2) 高齢者の安心な暮らしの実現に関すること。
- (3) 子育て支援及び児童・青少年の健全育成に関すること。
- (4) 文化・スポーツ振興に関すること。
- (5) 地域コミュニティ及び市民活動の活性化に関すること。
- (6) その他必要と認める事項

2. 講座の概要

MY定期講座では、健康や生活に関する様々な講座や講習会等を行うことで、地域住民のコミュニティ活動・社会参画を支援する

趣旨 「眠れない…」 「寝た気がしない…」 などなど、眠りの悩みを抱えている方はたくさんいます。そこで、眠りと健康との意外な関係を紹介します。(1) 健康増進・疾病予防に関すること)

日程 ※個別申し込み可

① 10月14日(土) 14:00~15:30

人生100年時代! ぐらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋

② 10月21日(土) 14:00~15:30

よい睡眠とれていますか?

ちよっとした工夫で睡眠満足度アップ!

講師

明治安田生命保険相互会社成田支社

チーフ・コンシエルジュ 園田 菜和 氏

対象 成人

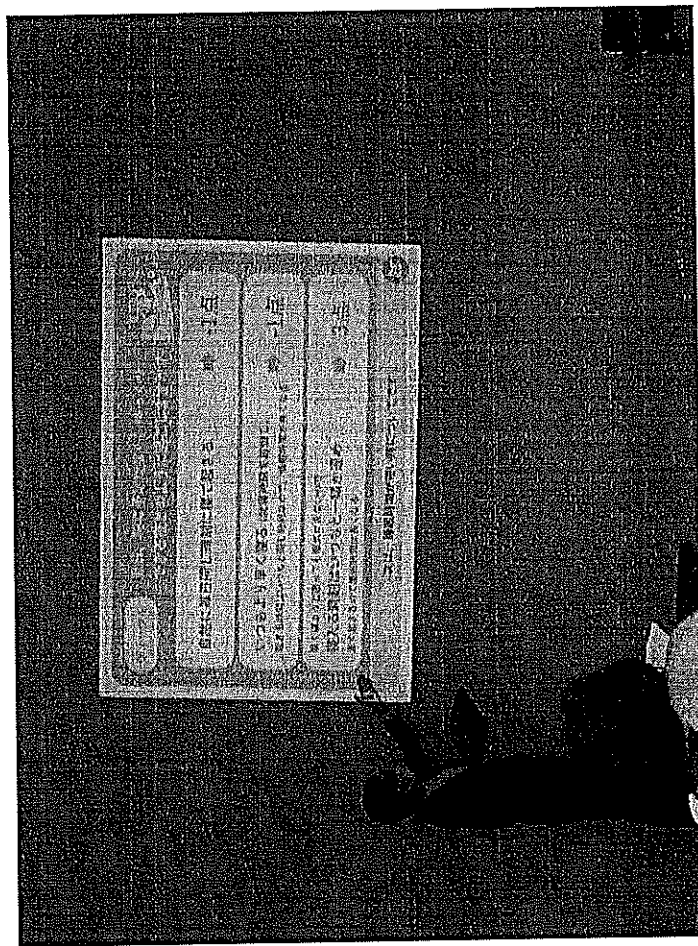
定員 各30人

参加費 無料

3. 実施内容

①10月14日（土）人生100年時代！
くらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋

参加者 11人





● 食事の体時計

体内時計は、毎日の食事と10時間以上空いた次の食事（＝朝食）からスタートするといわれています

朝食 7:00	5時間	7時頃	12時間	朝食 1:00
朝食 7:00	5時間	7時頃	12時間	朝食 1:00
昼食 12:00	7時間	7時頃	12時間	夕食 19:00
夕食 19:00	7時間	7時頃	12時間	夕食 19:00

④ 体内時計スタート

悪眠に効果的な食事やサプリ等は個人差があるので何を食べるかよりも「いつ」食べるかが重要です

「いつ」食べるのがよいか詳しくみてみましょう

● 朝食と夕食

朝食：起床後1時間以内に

- ・体内時計のスイッチを入れ1日のスタートをきる
- ・温かい飲み物で体温をあげることも重要

夕食：就寝2～3時間前までに

- ・おなかですいたまま眠るのは良くない
- ・寝る直前に食べる場合は、消化によいものにする（ヨーグルト・フルーツ・サラダ・スープ等）

カフェインについても考えてみましょう

● カフェインのとり方

寝つきをよくするためには夕食以降のカフェインを控えることが有効です

- ・覚醒作用は4時間（高齢者の場合は6-7時間）
- ・冷たい飲み物はさらに覚醒作用時間が長い

緑茶・紅茶はもとより、コーラやチョコレートにも注意

次に、お酒について考えてみましょう

● お酒の飲み方

お酒は「百薬の長」ともいいますが、2つの注意が必要です

その1. 基本は柔酒をしない（適量までしておく）

その2. アルコールの前にコップ一杯の水を飲む

① 身体はアルコールに順応する

一 酒を続けるうちにアルコール量が増える

② アルコール分岐時に発生するアセトアルデヒドの影響

一 強い酔いや中毒覚醒（仮中に目が覚める）が増える

③ アルコールの脱水作用

一 いびきや睡眠時無呼吸を悪化させる

お酒の飲み方はどうでしょうか

● お酒の飲み方

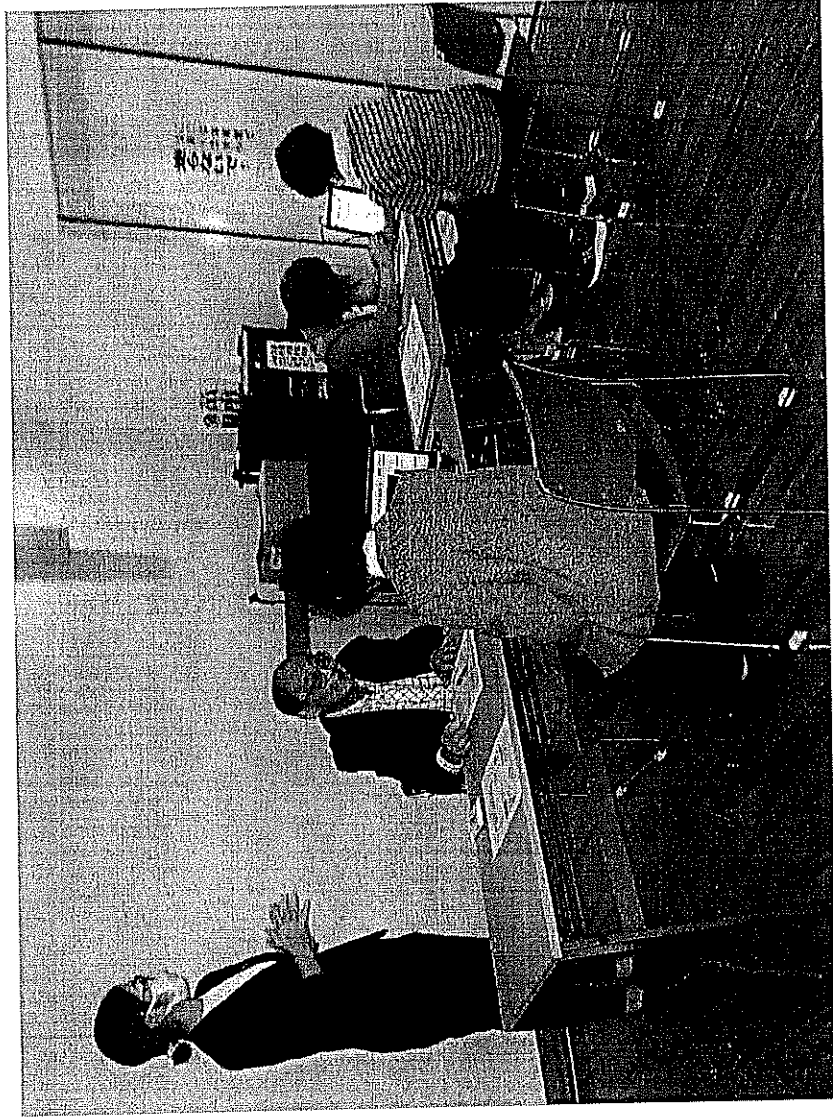
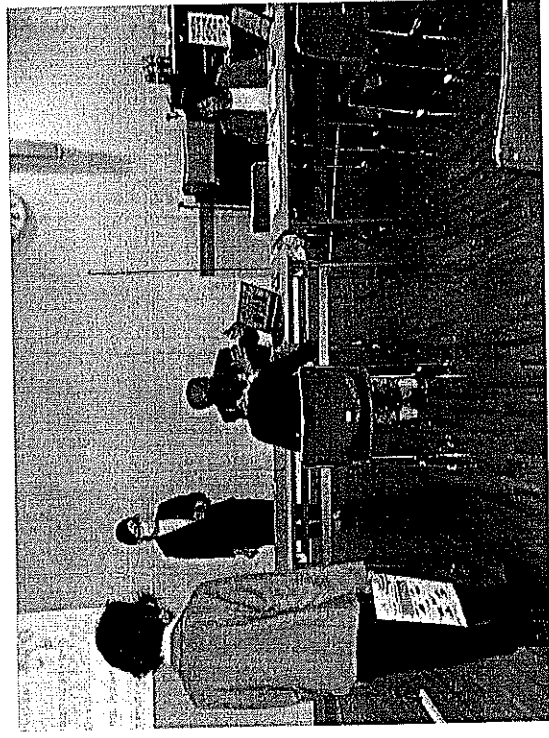
お酒は「百薬の長」ともいいますが、2つの注意が必要です

その1. 基本は柔酒をしない（適量までしておく）

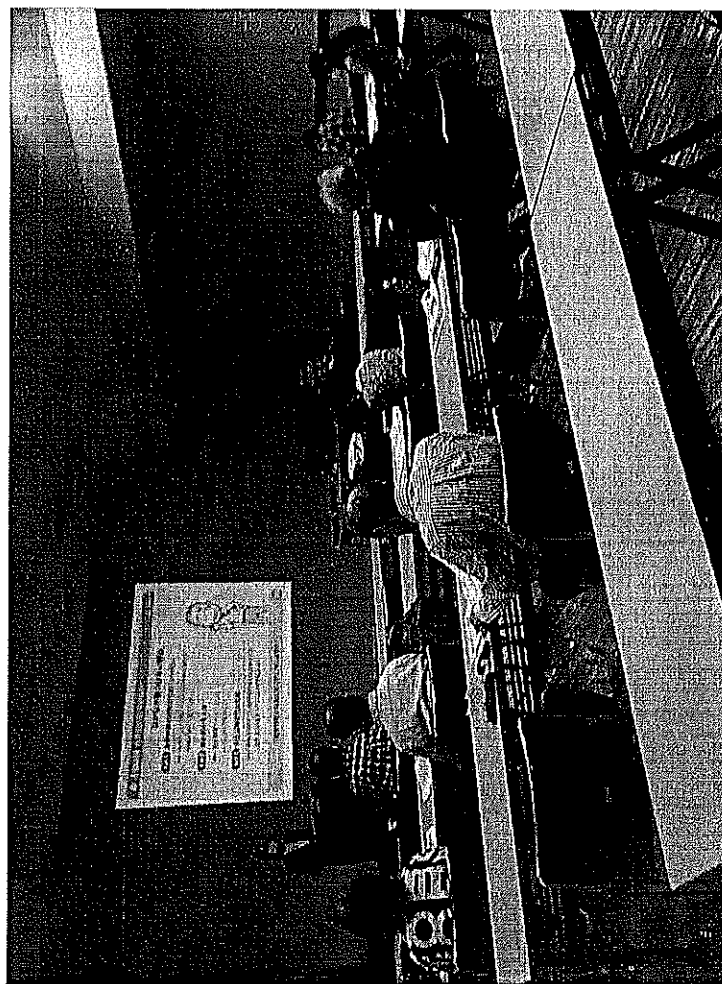
その2. アルコールの前にコップ一杯の水を飲む

次に、体温について考えてみましょう

講座前と休憩時にはこんなことも。
なんと血管年齢と野菜摂取充足度を
測定していただけます🌀



②10月21日（土）よい睡眠とれていますか？
ちょっととした工夫で睡眠満足度アップ！ 参加者13人



色文字ゲーム

漢字の色とひらがなの意味が同じ時に、手を叩く

漢字の色は あお

漢字の色は あお

漢字の色は きいろ

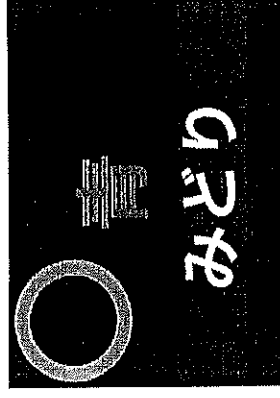
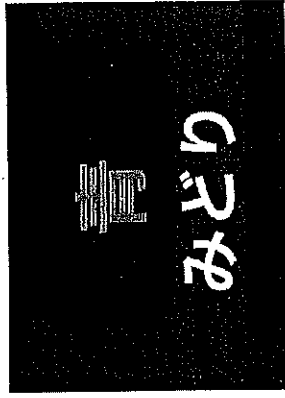
漢字の色は きいろ

できるだけ素早く

制作：明治安田健康開発財団

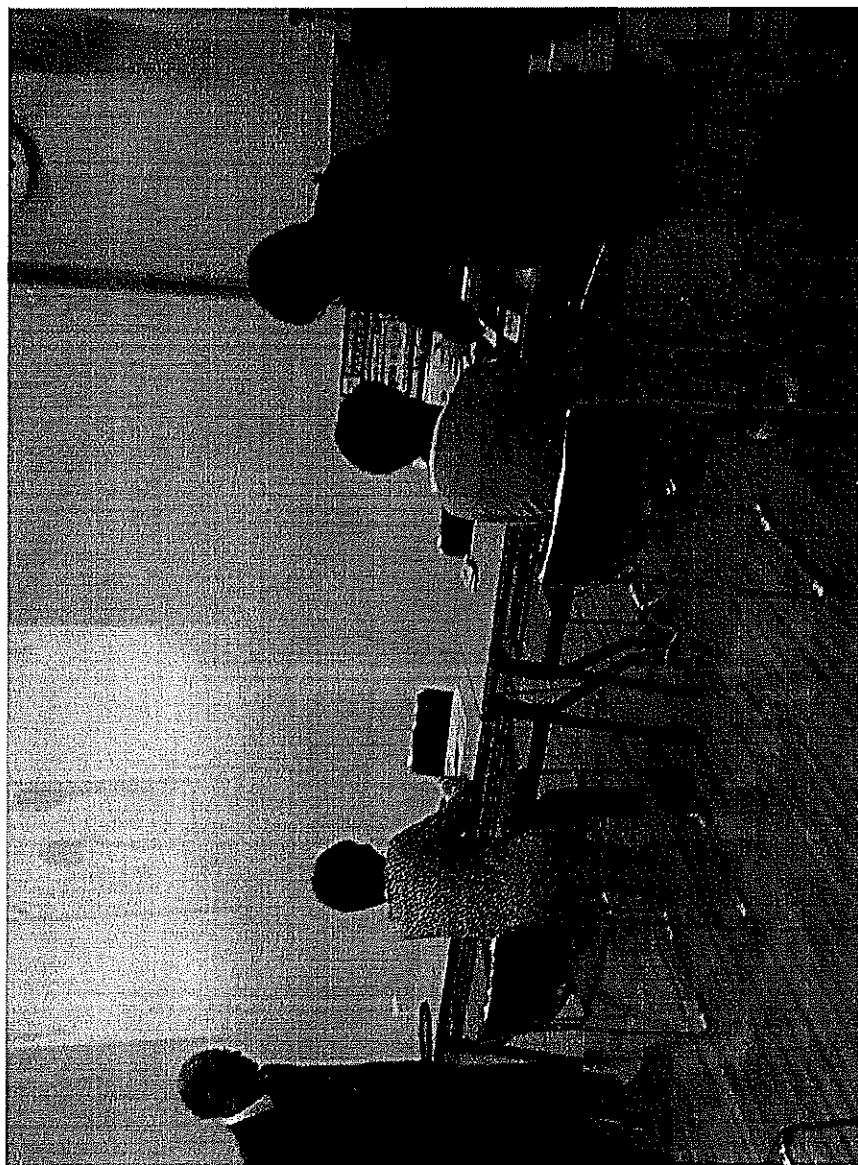
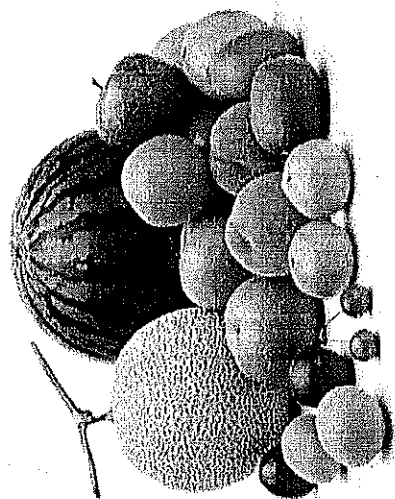


漢字の色と
ひらがなの
意味が違う



漢字の色と
ひらがなの
意味が同じ

この日も、講座前と休憩
時間に測定がありました。
今回は、AGEs（糖とタン
パク質が結びついた老化
物質）とヘモグロビン推
定値を測定していただき
ました。



4. 成果と課題 今後に向けて

明治安田生命保険相互会社によるアンケート結果

		①10月14日	②10月21日
楽しく受講できましたか		「満足」「やや満足」 11人中9人	「満足」「やや満足」 13人中11人
睡眠についての理解		「深まった」「やや深まった」 11人中11人	「深まった」「やや深まった」 13人中13人
講座についての具体的な感想		<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の悩みの解消に役立つ情報があった：5人 ・よりよい睡眠のために実践してみようと思うことがあった：9人 ・睡眠がとても重要なことがわかった：5人 ・睡眠について以前より知識をつけることができた：5人 	<ul style="list-style-type: none"> ・寝具選びの情報が参考になった：4人 ・よりよい睡眠のために環境を整えようと感じた：11人 ・睡眠について抱えている悩みの解消に役立つ情報があった：5人
次回も参加したいか		「参加したいと思う」 11人中10人	「参加したいと思う」 13人中12人

課題

参加者が集まりにくい

原因

- ①会場（弥富公民館）への交通アクセスの不便さ
- ②市民への事業の周知が不足している

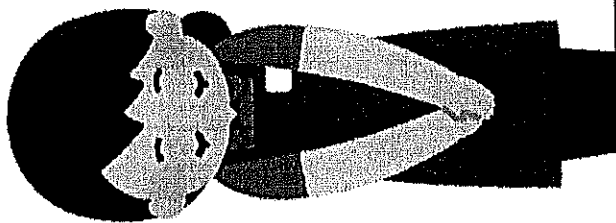
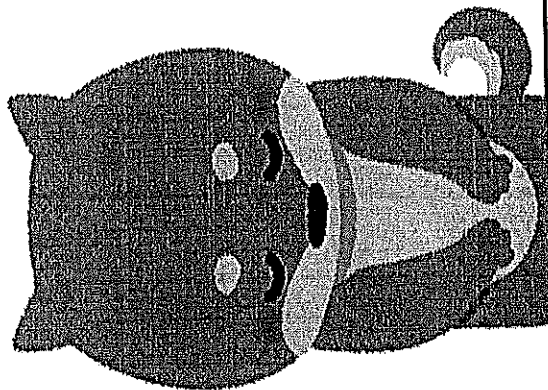
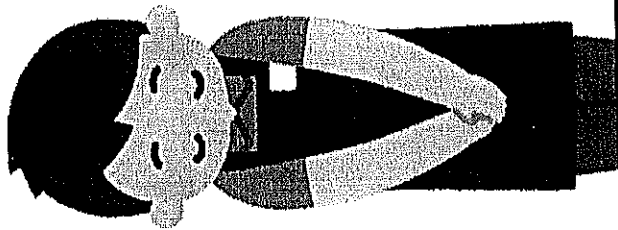
対策

- ①公民館玄関にバスアクセスの表を掲示
- ②佐倉市公式LINE及び公民館だよりを活用
スーパー等商業施設へポスターを掲示

今後に向けて

MY定期講座は他に「女性の健康づくり」「認知症予防」「防災講座」等、多彩な講座がある。

課題に適切に対応しつつ、公民館等が定期的に包括連携協定を活用した講座を開き、地域課題や個人の悩み等の解決の一助になれば。

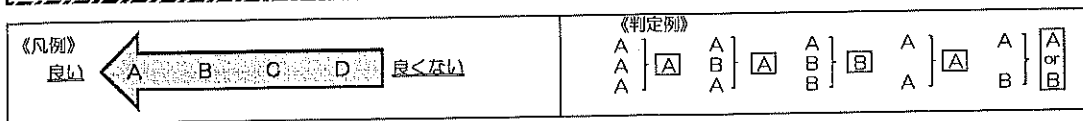


ご清聴ありがとうございました。

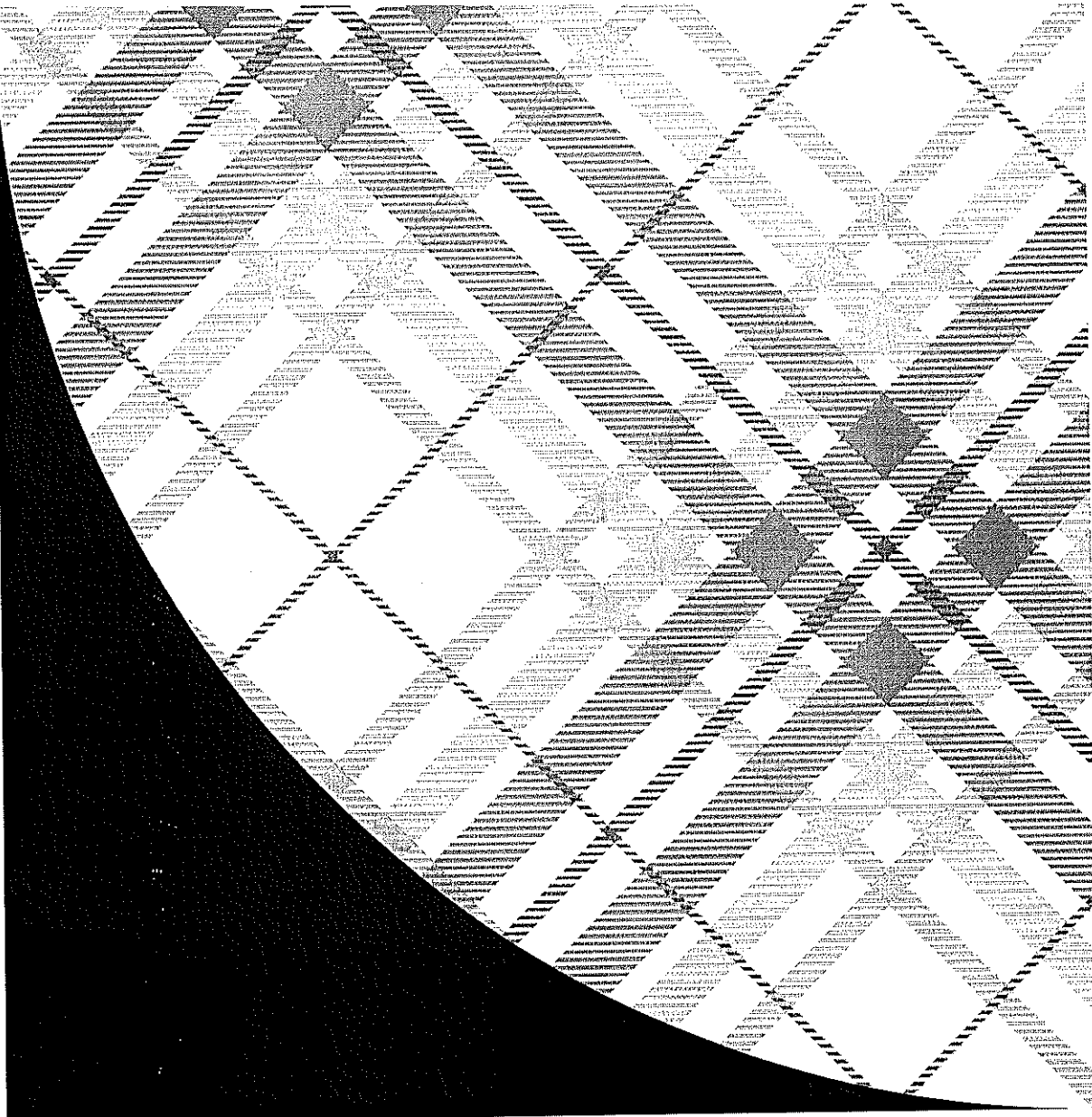
事業名	みんなと遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ				
ジャンル	家庭教育 ・ 青少年教育 ・ 成人教育 ・ 団体育成				
事業分類	実際生活に即する教育 ・ 学術及び文化に関する各種の事業 (社会教育法第20条「公民館の目的」より)				
事業意図	住民の教養の向上 ・ 健康の増進 ・ 情操の純化 (社会教育法第20条より)				
事業目的	生活文化の振興 ・ 社会福祉の増進 (社会教育法第20条より)				
日程	5月～2月 全15回	講師	楽母楽子 廣田 和子氏	参加費	無料
対象者	2歳児とその保護者	参加者数 (延べ)	119人 (12月分まで)	募集方法	こうほう佐倉・市ホームページ・チラシ・市公式ライン等
趣旨	○様々な体験活動を通して、幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期的人格形成を促す。 ○参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。				
内容	○親子で一緒に絵本の読み聞かせや簡単な工作、親子あそび・体操など ○年間通して1講座15回で開催。また、11月には家族参観日を設け、父親等の子育て参画を促す。				
工夫	○南部保健センターで行われている「幼児歯科検診」で対象年齢の幼児を持つ保護者にチラシを配布 ○佐倉市のLINEで情報発信や、申し込みは「ちば電子申請サービス」を活用するなどDX推進に取り組んだ。 ○1年間を通して事業を展開				
成果	○通年開催としたことで子どもたちも集団行動に慣れていった。 ○回が進むにつれて、お母さん同士も地域情報や子育て事情などの話をし、交流を深めていった。 ○DX推進 ①LINE使用 ②ちば電子申請サービスでの申し込み。				
課題	○関係性を保つよう支援することができなかった。 ○定員に達しなかった。				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	・ 公民館が行う必要があるか。 ・ 市民や利用者のニーズに合っているか。 ・ 目的や役割が薄れていないか。 ・ 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	・ 事業の優先度は高いか。
公平性	B	・ 対象者に情報は流れているか。 ・ 受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	A	・ 期待通りの成果が得られているか。 ・ さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・ 市民の満足度は高いか。
効率性	A	・ 事業の効率性はどうか。 ・ 事業運営に学習者が参画しているか。 ・ 他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。
特記	参加者が定員に達しなかった。 担当と講師との間に良好な信頼関係が築けていた。	



次年度展望	②	①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了	②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他	③: 事業縮小
-------	---	-------------------------	----------------------------	---------



家庭教育事業

みんなと遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ

佐倉市立根郷公民館 小那木 理

開設趣旨

- ▶ 様々な体験活動を通して、幼児の創造力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す。
- ▶ 参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。

ねらい

- ▶ 幼児の創造力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す。
- ▶ 地域に仲間をつくることにより、気軽に相談できる関係づくりを促す。

事業の概要

対象：令和2年4月2日から令和3年4月1日生まれの
幼児と保護者

日程：令和5年5月12日から令和6年2月9日

原則毎月第2・第4金曜日

募集方法：・こうほう佐倉

・ホームページ

・近隣商業施設や公共施設でチラシを配布

今年度新しく取り組んだこと

- ▶南部保健センターで行われている「幼児歯科検診」で対象年齢の幼児を持つ保護者にチラシを配布
- ▶佐倉市のLINEで情報発信
- ▶申し込みは「ちば電子申請サービス」を活用
- ▶1年間を通して事業を展開

LINE画像

11・佐倉市

2023年4月10日(月)

【令和5年度 みんなと遊ぼう ほっぼちゃんくらぶ】(対象：令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれの幼児と保護者)

親子で一緒に参加する講座です。同じ子育て中の方と話したり、相談できるお友達を作れませんか？

<https://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/negokominkan/syusajigyou/16983.html>

募集チラシ

令和5年度佐倉市立津原公民館主催 家庭教育講座

みんなと遊ぼう ほっぼちゃんくらぶ



「ほっぼちゃんくらぶ」ってなに？

- ・春季の親子参加はや手遊び、体操などの講座です。
- ・親子で一緒に参加します。
- ・一人と子育てに悩んでいるお母さん、同じ子育て中の方と話したり、相談したりしてお友達を作りませんか？

日時：令和5年5月12日～令和6年2月9日の毎月原則第2・第4生曜日
(変更になる場合がございます) 午前10時～11時30分

対象：令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれの幼児と保護者

定員：15組(多人数抽選)

参加費：無料

講師：藤田和子氏(養母養子)

申込み：お申し込みは専用ページ(佐倉市から)

申込期間：令和5年4月30日まで

抽選結果は5月1日以降メールでお知らせします。
※この抽選結果は個人宛メールです。



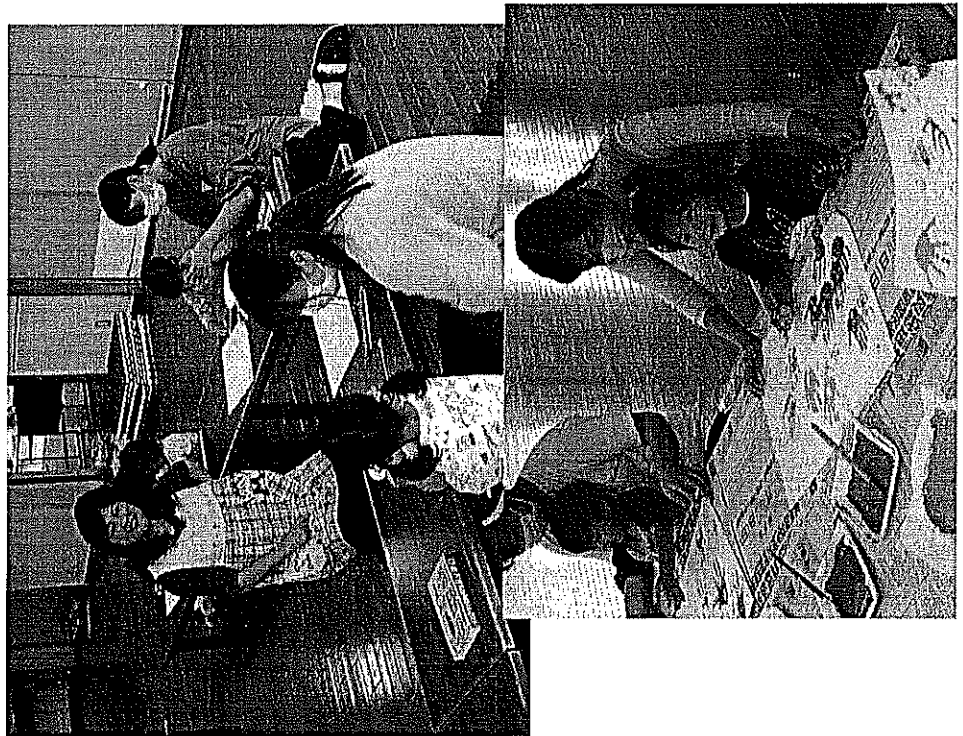
問合せ：佐倉市立津原公民館 〒285-0815 佐倉市城343-5
TEL:043-486-3147/FAX:043-486-3686
E-MAIL: negou-public@city.sakura.lg.jp

学習プログラム

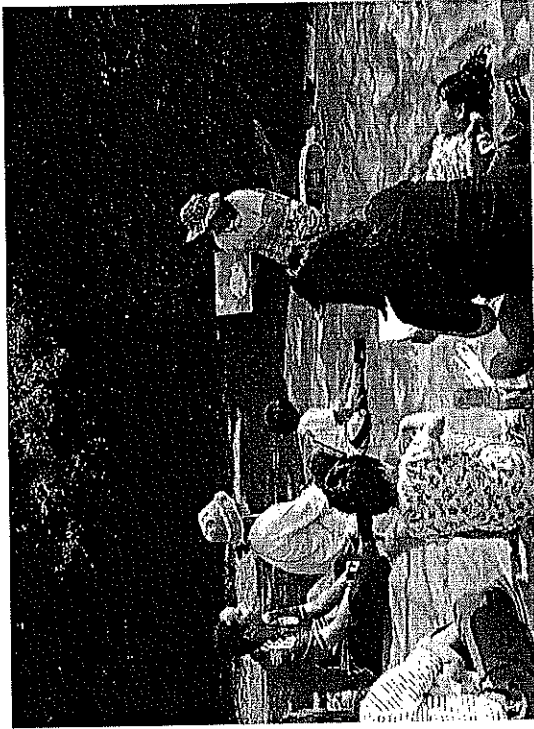
日程	内容	服装
1 5/12	折り紙を使って	クレヨン、はさみのり、セロテープ
2 5/26	新聞紙ちぎり	クレヨン、はさみのり、セロテープ
3 6/9	おうちの人にプレゼントをつくろう	クレヨン、はさみのり、セロテープ
4 6/23	七夕 短冊に願いごとをかこう	クレヨン、はさみのり、セロテープ
5 7/14	ボールを使って	クレヨン、はさみのり、セロテープ
6 9/8	お魚釣りしよう	クレヨン、はさみのり、セロテープ
7 9/22	かけっこをしよう	クレヨン、はさみのり、セロテープ
8 10/13	手形をとろう	クレヨン、はさみのり、セロテープ
9 10/27	作ってあそぼう	クレヨン、はさみのり、セロテープ
10 11/3	家族参観日 ロケットを飛ばそう	クレヨン、はさみのり、セロテープ
11 11/24	体操 フープを使って	
12 12/8	ツリーに飾るものを作ろう	クレヨン、はさみのり、セロテープ
13 1/6	体操 たこあげをしよう	クレヨン、はさみのり、セロテープ
14 1/26	工作 鬼のお面を作ろう	クレヨン、はさみのり、セロテープ
15 2/9	体操 みんなで運動会	

事業の内容

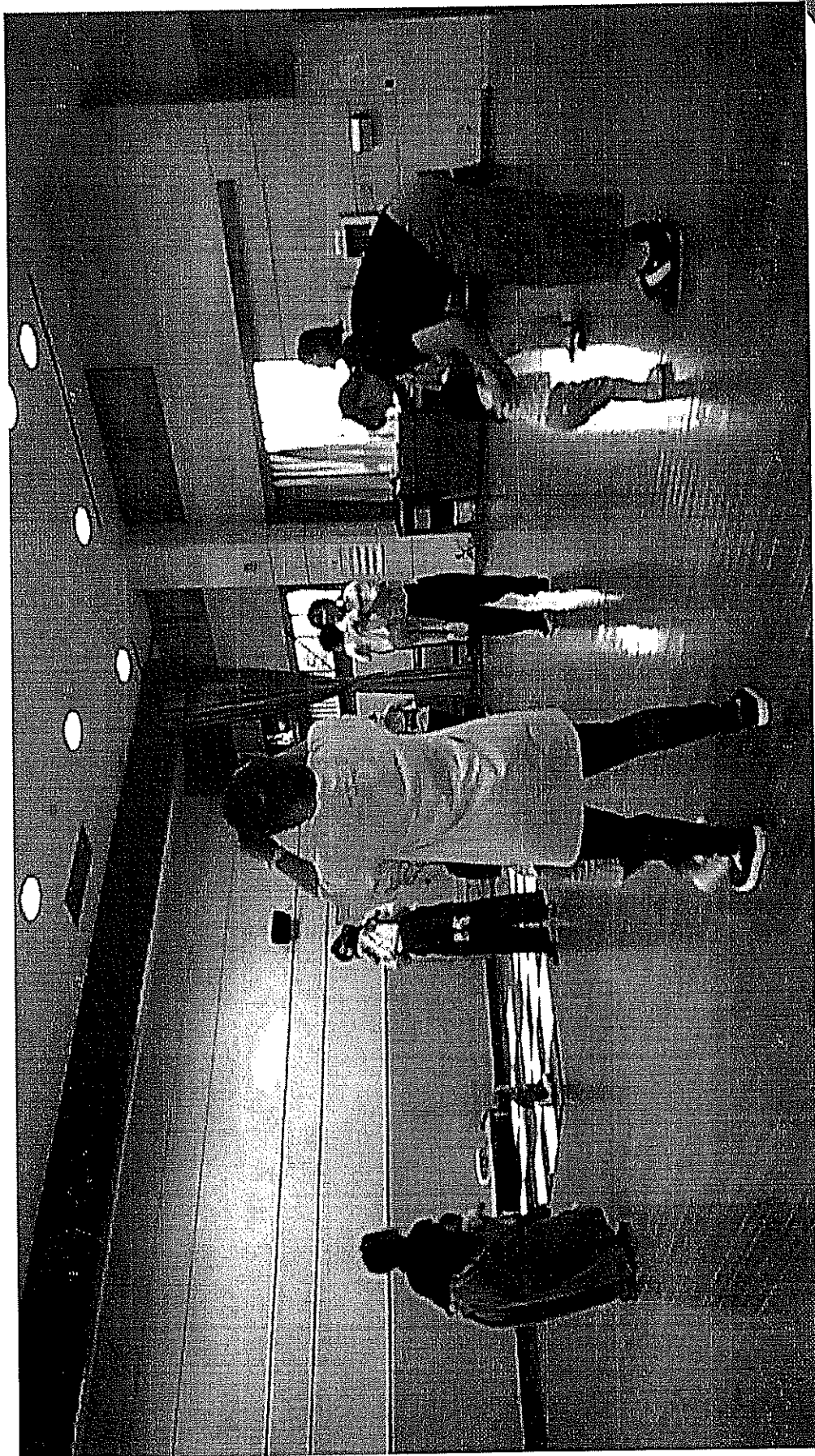
- ▶ あいさつ
- ▶ 体操
- ▶ 工作あそび
- ▶ 絵本の読み聞かせ
- ▶ 手遊び

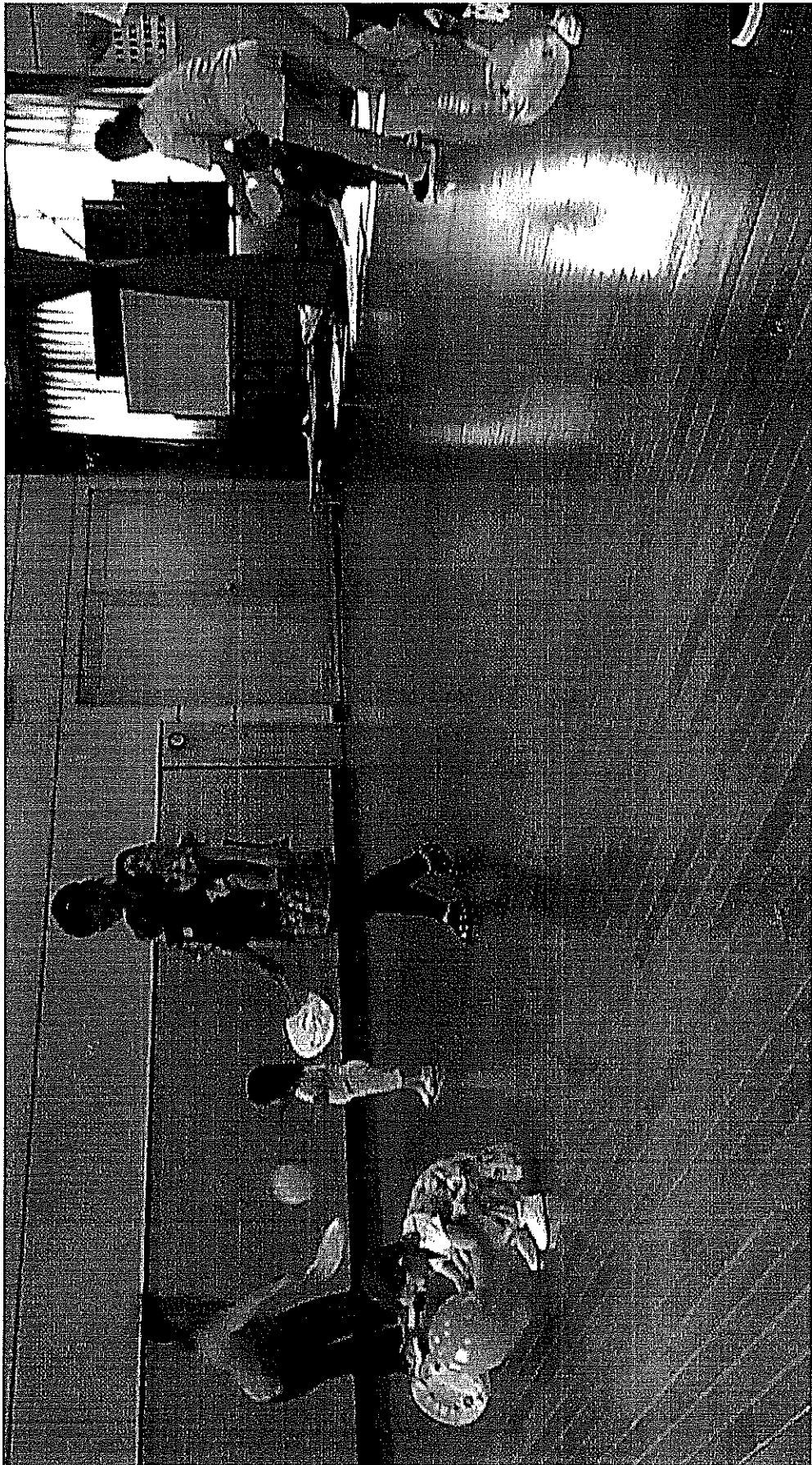


事業の様子









事業の成果

▶ 通年開催としたことで、子どもたちも集団行動に慣れていった。

▶ 回が進むにつれ、お母さん同士も地域の情報や子育て事情などの話をし、交流を深めていた。

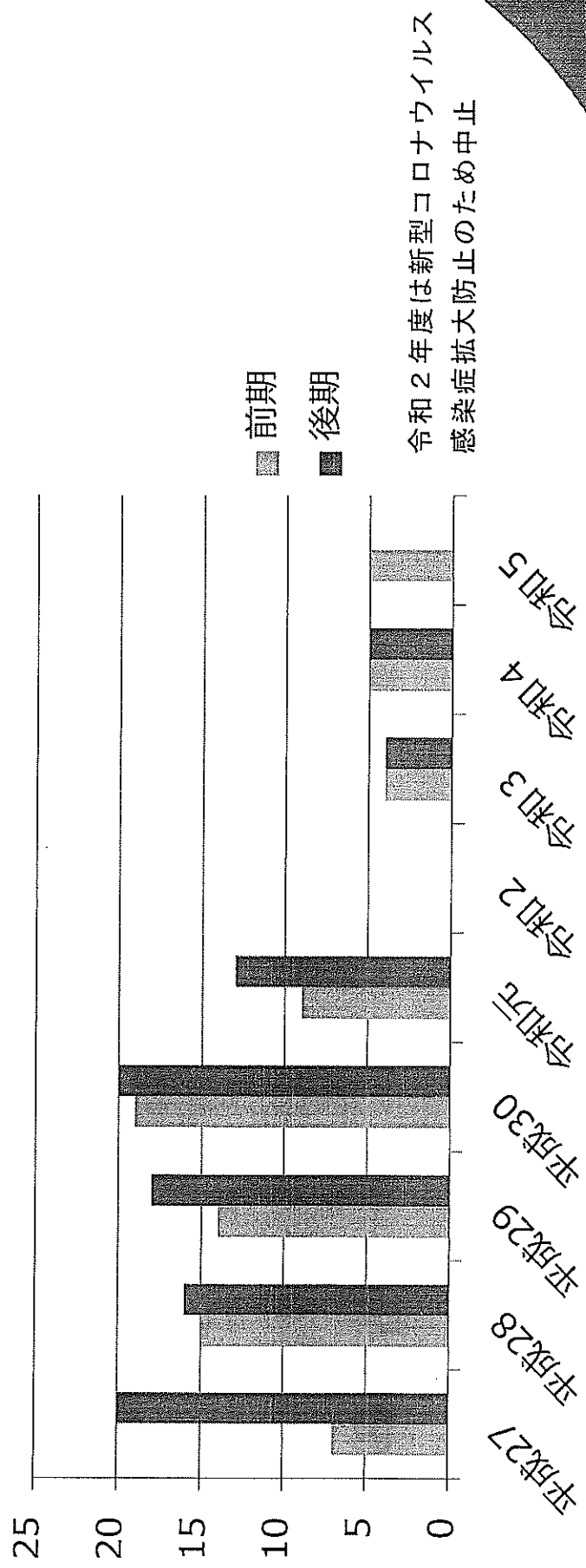
▶ DX推進

① LINE使用

② ちば電子申請サービスでの申し込み

事業の課題

- ▶ 関係性を保つよう支援することができなかった
- ▶ 定員に達しなかった



事業の展望

- ▶ 「楽しく親子で参加できる場」として周知
- ▶ 保護者を中心とした講座を企画

ご清聴ありがとうございました

事業名	「今、片づけようと思ったのからの脱出」				
ジャンル	家庭教育 ・ 青少年教育 ・ 成人教育 ・ 団体育成				
事業分類	実際生活に即する教育 学術及び文化に関する各種の事業 (社会教育法第20条「公民館の目的」より)				
事業意図	住民の教養の向上 ・ 健康の増進 ・ 情操の純化 (社会教育法第20条より)				
事業目的	生活文化の振興 社会福祉の増進 (社会教育法第20条より)				
日程	令和5年7月4日(火)	講師	整理収納研究所 代表 桑原 美栄子	参加費	—
対象者	成人	参加者数 (延べ)	5人	募集方法	佐倉市LINE
趣旨	家庭での片づけに悩まれている子育て世代の方に向けての学習機会を提供する講座を実施する。 また、保護者の悩みに寄り添うことで、子育てを応援する。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3名1組のグループワークを中心に行った。 ・ 「整理」「収納」「片づけ」「整頓」について、それぞれの違いを明確にし、今回は「片づけ」を中心とした講座を行った。 				
工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集記事を佐倉市LINEで配信し、申込を「ちば電子申請サービス」で受付けた。 ・ 志津市民プラザ内にある志津児童センターに協力してもらい、事前に子ども達を対象とするアンケート調査を行い、講座内容に反映させた。 ・ 会場にキッズスペースを用意した。 				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片づけをするために保護者としてどうするか学ぶことができた。 ・ 少人数での講座により、受講者の悩みに丁寧に答えながらの講座ができた。 ・ 日々の生活で片づけしたくなる習慣について、イメージすることができた。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加申込が少なく、追加募集を行った。 ・ 当日までのキャンセルも多く、参加者が少なかった。 【定員：20人、申込者(決定者)：13人、参加者：5人] ・ 学卒での家庭教育講座は毎回応募や参加が厳しい傾向がある。 				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館が行う必要があるか。 ・ 市民や利用者のニーズに合っているか。 ・ 目的や役割が薄れていないか。 ・ 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいのか。
優先性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の優先度は高いか。
公平性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者に情報は流れているか。 ・ 受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期待通りの成果が得られているか。 ・ さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・ 市民の満足度は高いか。
効率性	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性はどうか。 ・ 事業運営に学習者が参画しているか。 ・ 他事業との統合は考えられるか。
総合評価	B	A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。
特記		

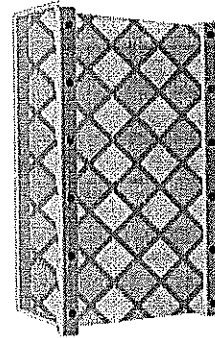
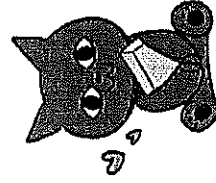
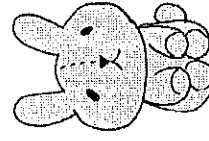
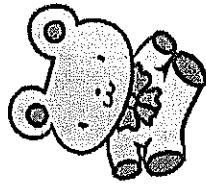
《凡例》 ① ← A B C D → ② ③ ④ ⑤

《判定例》

A	A	A	A	A	A
A	A	B	B	A	A
A	A	A	B	A	B

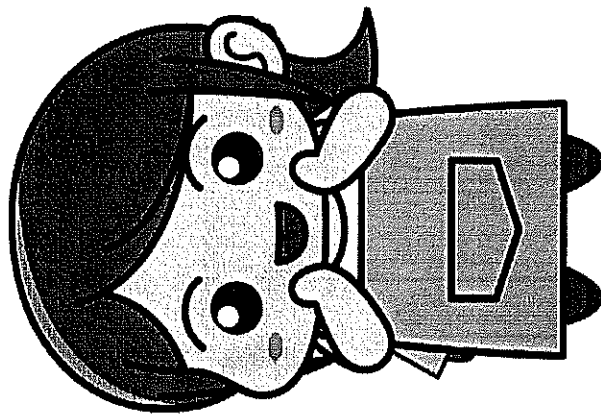
次年度展望	①：事業拡大 ②：現状規模で継続 ③：事業縮小 ④：目的達成により終了 ⑤：統合・改善・その他
-------	---

「今、片づけよう」と 思ったのに からの脱出」



【講座の趣旨】

- 家庭での片づけに悩まれている子育て世代の方に向けて学習機会を提供。
- 保護者の悩みに寄り添うことで、子育てを応援。

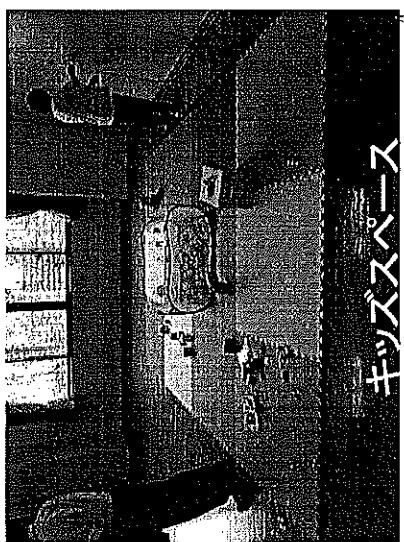


【講座の概要】

- ・ 日 時 令和5年7月4日(火)午前10時～正午
- ・ 場 所 志津公民館 大会議室A
- ・ 講 師 桑原 美栄子 氏(整理収納研究所代表)
- ・ 募集方法 佐倉市LINE
- ・ 定員 20名
- ・ 申込者数 13名(30代から50代)
- ・ 当日参加者 5名 (その他、志津公民館職員1名・社会教育課職員2名)

【講座の工夫】

- ・募集記事を佐倉市LINEで配信し、申込を「ちば電子申請サービス」で受け付けることで、現在子育て中でありLINEを利用する若年層をターゲットに。
- ・志津市民プラザ内にある志津児童センターに協力してもらい、事前に子ども達を対象とするアンケート調査を行い、講座内容に反映。
- ・会場にキッズスペースを用意し、参加者が落ち着いて講義に集中できる環境を。

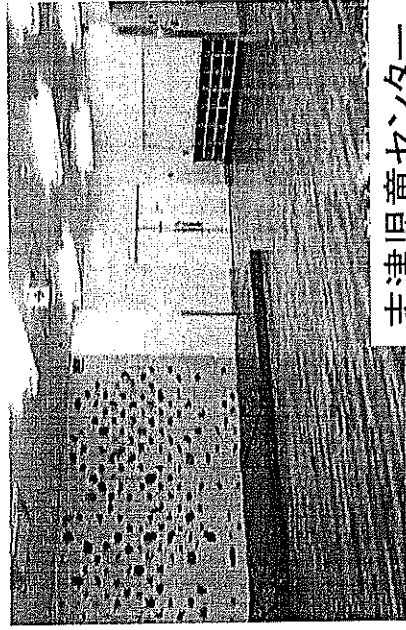


【事前アンケート(児童センター)】

『おそうじ』や『おかたづけ』についておしえてね！

- ①がくねん
- ・ 1ねんせい(0名)
 - ・ 2ねんせい(1名)
 - ・ 3ねんせい(3名)
 - ・ 4ねんせい(4名)
 - ・ 5ねんせい(5名)
 - ・ 6ねんせい(0名)
 - ・ 中学1年生(4名)

- ②せいべつ
- ・ おとこ(4名)
 - ・ おんな(12名)
 - ・ 不明(1名)



志津児童センター

『おそうじ』や『おかたづけ』についておしえてね！

あてはまるものを○でかこんでください。

①がくねん
 1ねんせい 2ねんせい 3ねんせい
 4ねんせい 5ねんせい 6ねんせい

②せいべつ
 おとこ おんな

③おそうじ、おかたづけ、おそうじとあそぶは、どくいでですか？
 とくい ながて どちらでもない

④おそうじで『おそうじ』や『おかたづけ』をしますか？
 まいには とまどぎ していい

⑤おそうじとあそぶ、どんな『おそうじ』に参りますか？
 かたづけはきれいな『おそうじ』に参りますか？
 かたづけしているときは『おそうじ』になつてかたづけしているよ
 かたづけなくても、すぐに『あそびやう』
 めんどくで『まらいい』

⑥おそうじなら『おそうじ』や『おかたづけ』をかんぱれしますか？
 『おそうじ』をかんぱれするよ
 『おそうじ』といっしょのとき
 『おそうじ』といっしょに参るよ
 ずきな『おそうじ』をつかえるとき
 にぶんとりてでかんぱれと『おそうじ』

アンケート

【アンケート結果(児童センター)】

③あなたは、『おかたづけ』や『せいりせいとん』

は、とくいですか？

- ・とくい(7名)
- ・にがて(9名)
- ・どちらでもない(1名)

④おうちで『てつだい』をしていますか？

- ・まいにち(2名)
- ・ときどき(10名)
- ・していない(3名)
- ・不明(1名)

⑤おそうじすると、どんな『きもち』になりますか？(複数回答)

- ・かたづけはきれいになって『すき』だよ(6名)
- ・かたづけけているときは『むちゆう』になってかたづけけているよ(6名)
- ・かたづけをしても、すぐに『あきちやう』(2名)
- ・めんどうで『きらい』(1名)


⑥どうしたら『おそうじ』や『おかたづけ』をがんばれますか？

(複数回答)

- ・『ごほうび』をもらえるとき(9名)
- ・『ともだち』といっしょのとき(4名)
- ・『かぞく』といっしょにそうじ(2名)
- ・すきな『そうじどうぐ』をつかえるとき(3名)
- ・じぶんひとりでできたねと『ほめられた』とき(2名)

【講座内容】

- ・3名1組のグループワーク。
- ・まずは「整理」「収納」「片づけ」「整頓」について、それぞれの違いを明確に。
- ・「整理」必要・不必要なものを区別して、不必要なものを取り除く
- ・「収納」使う場所に使いやすくしまう
- ・「片づけ」元の位置に戻すこと
- ・「整頓」見た目良く整えること



今回は「片づけ」
を中心にを行います。

元に戻せない原因
 (片づけられない原因)

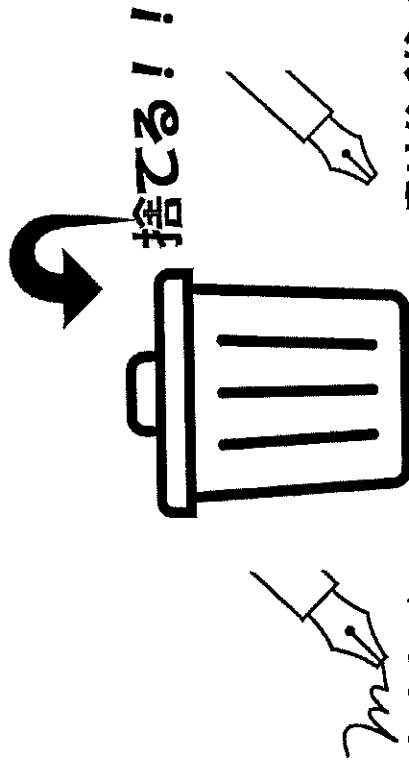


- 置き場所が決まっていない
- 置き場所が使いにくい

・片づけの前に、まず物を減らす。

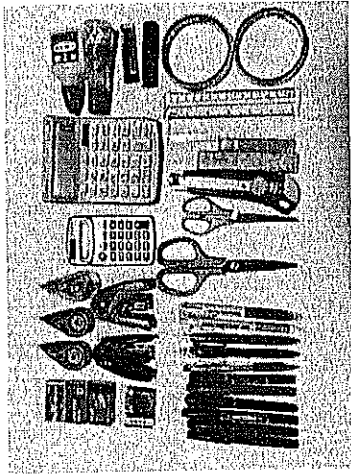
・必要な物をどう分けていくか？

・『今』使っている？ 『今』使っていない？



書けなくなったペン
(使っていない)

書けるペン
(使っている)



※ヒント

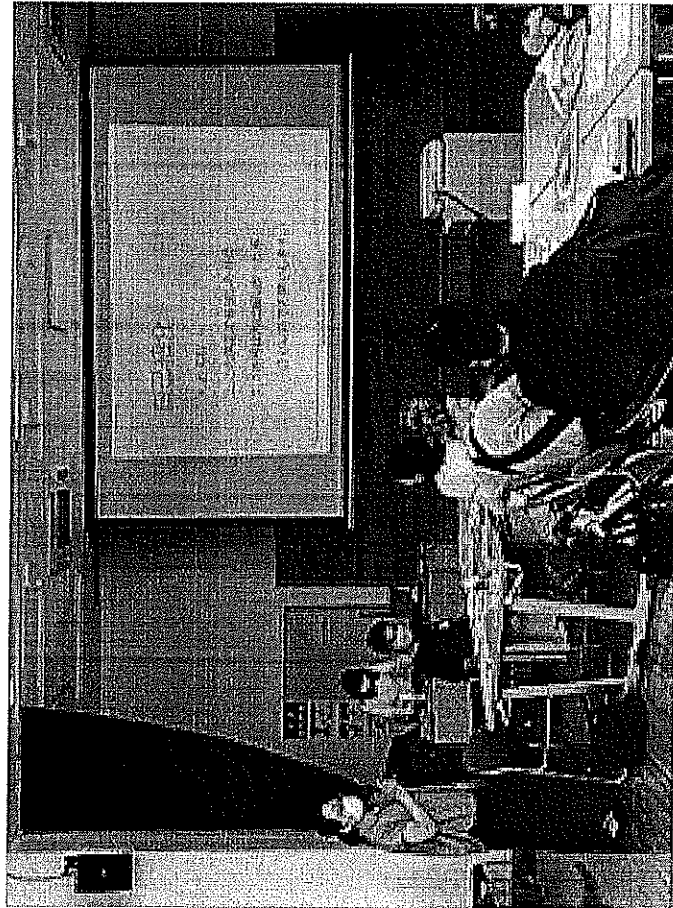
必要・不必要の判断基準
・『今』使っている？
・『今』使っていない？

ワーク 各項目に、必要なモノに○、不要なモノに×を書き込みましょう。

品物	状態	○ ×	品物	状態	○ ×
ホチキスの針	使用中		黒の糊マジック	使用中	
ホチキスの針	新品		黒の糊マジック	使用中	
ホチキスの針	新品		黒の糊マジック	かすれている	
消しゴム	使用中		黒の糊マジック	かすれている	
消しゴム	使用中		赤の糊マジック	使用中	
ピンク修正テープ	使用中		マーカージェル	使用中	
ピンク修正テープ	使用中		赤のボールペン	使用中	
みどり修正テープ	使用中		シャープペン	使用中	
ブルーホチキス	使用中		黒のボールペン	使用中	
オレンジホチキス	使用中		黒のボールペン	新品	
小電卓	不使用		3色ボールペン	黒が書けない	
大電卓	使用中		ピンクハサミ	使用中	
ポンド	使用中		黄色ハサミ	使用中	
糊	使用中		大カッター	使用中	
シャープペン芯	使用中		大カッターの刃	使用中	
シャープペン芯	新品		小カッターの刃	ナイフがない	
ゼロハンテープ	使用中		物差し	使用中	
ゼロハンテープ	新品		物差し	使用中	



【色分けを使った片づけの実践】



自己紹介を兼ねて、参加動機と「最近嬉しかったこと」を語ってもらう。



カードと紐を使った色分けの準備

【色分けを使った片づけの実践】



カードを紐を囲んで色ごとに仕分ける



グループで話し合いながら仕分けを進める

【アンケート結果(参加者)】

※アンケート結果 6名分
(社会教育課職員1名分を含む)

①今回の講座に参加してどうでしたか？

- ・ 満足.....6名
- ・ やや満足.....0名
- ・ やや不満.....0名
- ・ 不満.....0名

③今回の講座に参加して家庭教育力が高まりましたか？

- 1. とても高まった...5名
- 2. 少し高まった.....1名
- 3. あまり高まらなかった.....0名
- 4. まったく高まらなかった.....0名

②この講座の目的は、子育てに悩みを抱えている家庭に向けて、地域や家族で悩みを共有し、子育てに取り組む方法や姿勢を学ぶことです。

- ・ 1. とても達成されていると思う...4名
- ・ 2. 少し達成されていると思う.....1名
- ・ 3. あまり達成されていないと思う.....0名
- ・ 4. まったく達成されていないと思う.....0名
- ・ 無回答.....1名

【講座の成果】

ワークショップで得たもの

- ・物を目の前に具体的に考えていくことで気づきを得られた。
 - ・先に「片づけて！」と声をかけられると気持ちいが失せてしまうことがわかった。
- ↓**
- ・片づけをするために保護者としてどうするか学ぶことができた
 - ・少人数での講座により、受講者の悩みに丁寧に答えながらの講座ができた
 - ・日々の生活で片づけたいくなる習慣について、イメージすることができた

【講座の課題①】

- ・参加申込が少なく、追加募集を行った。
- ・当日までのキャンセルも多く、参加者が少なかった。
- ・定員:20人、申込者(決定者):13人に対し、参加者:5人



- ・アンケートの結果、平日午前という時間が合わないとはいえない。
(希望の曜日や時間帯を結果から図ることは難しい)



- ・LINE以外の募集方法も検討が必要
- ・キャンセルについては予測できないところもある

【講座の課題②】

座学での家庭教育講座は
毎回応募や参加が厳しい傾向



公民館側から伝えたい座学の講座と、
対象者が参加したい講座との
すり合わせをしていくことが今後の課題。

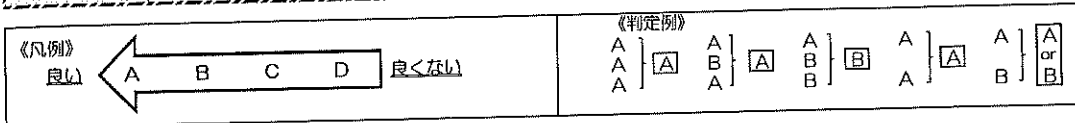
リフレッシュをねらいとし、大好評だった
令和4年度の家庭教育事業「ハッピーマインドヨガ」



事業名	バックステージツアー						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育	・	団体育成
事業分類	実際生活に即する教育 ・ 学術及び文化に関する各種の事業 (社会教育法第20条「公民館の目的」より)						
事業意図	住民の教養の向上 ・ 健康の増進 ・ 情操の純化 (社会教育法第20条より)						
事業目的	生活文化の振興 ・ 社会福祉の増進 (社会教育法第20条より)						
日程	8月3日 木曜日	講師	音楽ホール職員	参加費	無料		
対象者	市内小学生と保護者	参加者数 (延べ)	9人	募集方法	こうほう佐倉		
趣旨	舞台裏の見学と体験を通じて舞台運営の仕事を理解することを入り口として、広い意味では職業体験によって子ども達が「働く」ということについて考え、そのことが、「生きる力」につながって行く機会を提供することを目的として実施します。						
内容	普段目にする事の無いコンサートや演劇の舞台裏を、目の当たりにするだけではなく、本物の機材を専門スタッフの指導の下に操作することで、華やかな舞台を、連携作業で共に支える舞台・音響・照明の仕事を経験します。						
工夫	其々の見学場所で操作体験などをする為、グループに分かれての見学となります。音響室では、近年の小学生は見たことの無いカセットテープレコーダーでの録音再生を行ったり、調光室では、色付きの光を混ぜて異なる色を作り出す操作を体験します。(絵具は3原色を混ぜると黒くなりますが、光の3原色を混ぜると白くなります。) 日常なかなか体験できない事を組み込んでいます。						
成果	本物の機材に触れて、操作する体験は、小学生にとって貴重な機会であり、想像とのギャップを事業後の感想で語ってくれた参加者もあり、百聞は一見に如かずの典型を実践でき、参加者の記憶に残る体験を提供することが出来た。						
課題	中学校で実施する職場体験(キャリア教育)などへ繋がって、今回の経験を基にステップアップが図られると、生徒が他人の生き方や働くことの大切さなどを学び、自分の生き方や将来を考える機会ともなり本事業の趣旨が生きてくると思うが、職場体験として受け入れの体制が取れるのかが課題。						

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	・ 公民館が行う必要があるか。 ・ 市民や利用者のニーズに合っているか。 ・ 目的や役割が薄れていないか。 ・ 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	・ 事業の優先度は高いか。
公平性	B	・ 対象者に情報は流れているか。 ・ 受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	A	・ 期待通りの成果が得られているか。 ・ さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・ 市民の満足度は高いか。
効率性	B	・ 事業の効率性はどうか。 ・ 事業運営に学習者が参画しているか。 ・ 他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。
特記		



次年度展望	②	①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了	②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他	③: 事業縮小
-------	---	-------------------------	----------------------------	---------

令和5年公民館運営審議会

事業報告会

臼井公民館 青少年教育

『バック・ステージ・ツアー』

バック・ステージ・ツアー事業について

趣 旨 音楽ホールでの普段見ることのできない舞台裏（バックステージ）の見学と、舞台での催し物を支えている音響、照明の操作などの体験をとおして、舞台運営の仕事への理解を深める。

日 時 令和5年 8月 3日（木） 午前10時～12時

対 象 小学生とその保護者

定 員 6組 18名（保護者含む1組3名を基本）（先着順）

参加費 無 料

指 導 佐倉市民音楽ホール職員

募 集 こうほう佐倉（令和5年7月15日号）

臼井・千代田地区について

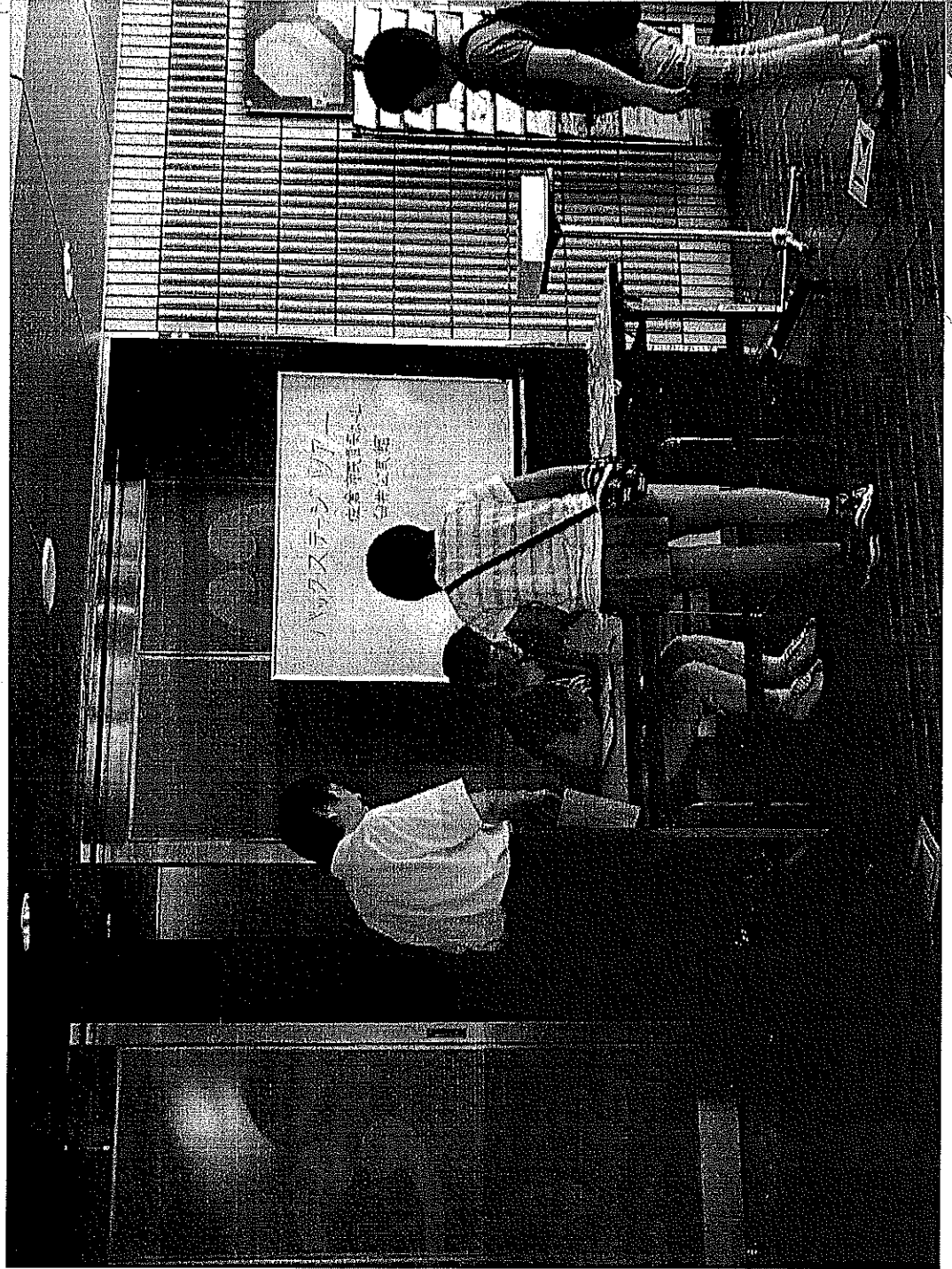
人口 (令和5年3月末)

臼井地区 29,624人 (13,966世帯)

千代田地区 10,435人 (4,405世帯)

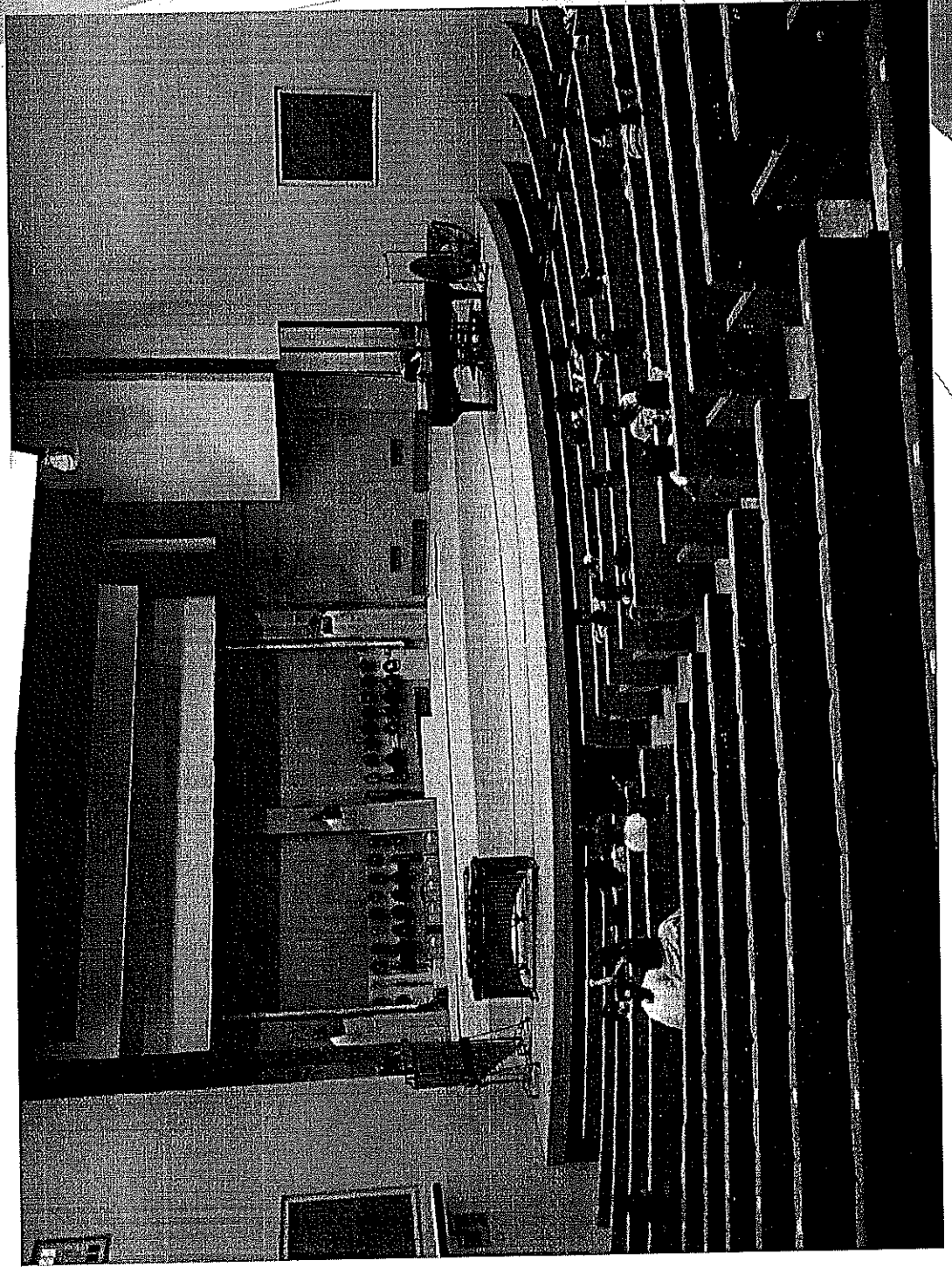
小学校 (6校) 1,738人 (人数は令和5年4月)

- ・ 臼井小学校 264人
- ・ 印南小学校 179人
- ・ 間野台小学校 462人
- ・ 王子台小学校 302人
- ・ 千代田小学校 298人
- ・ 染井野小学校 233人

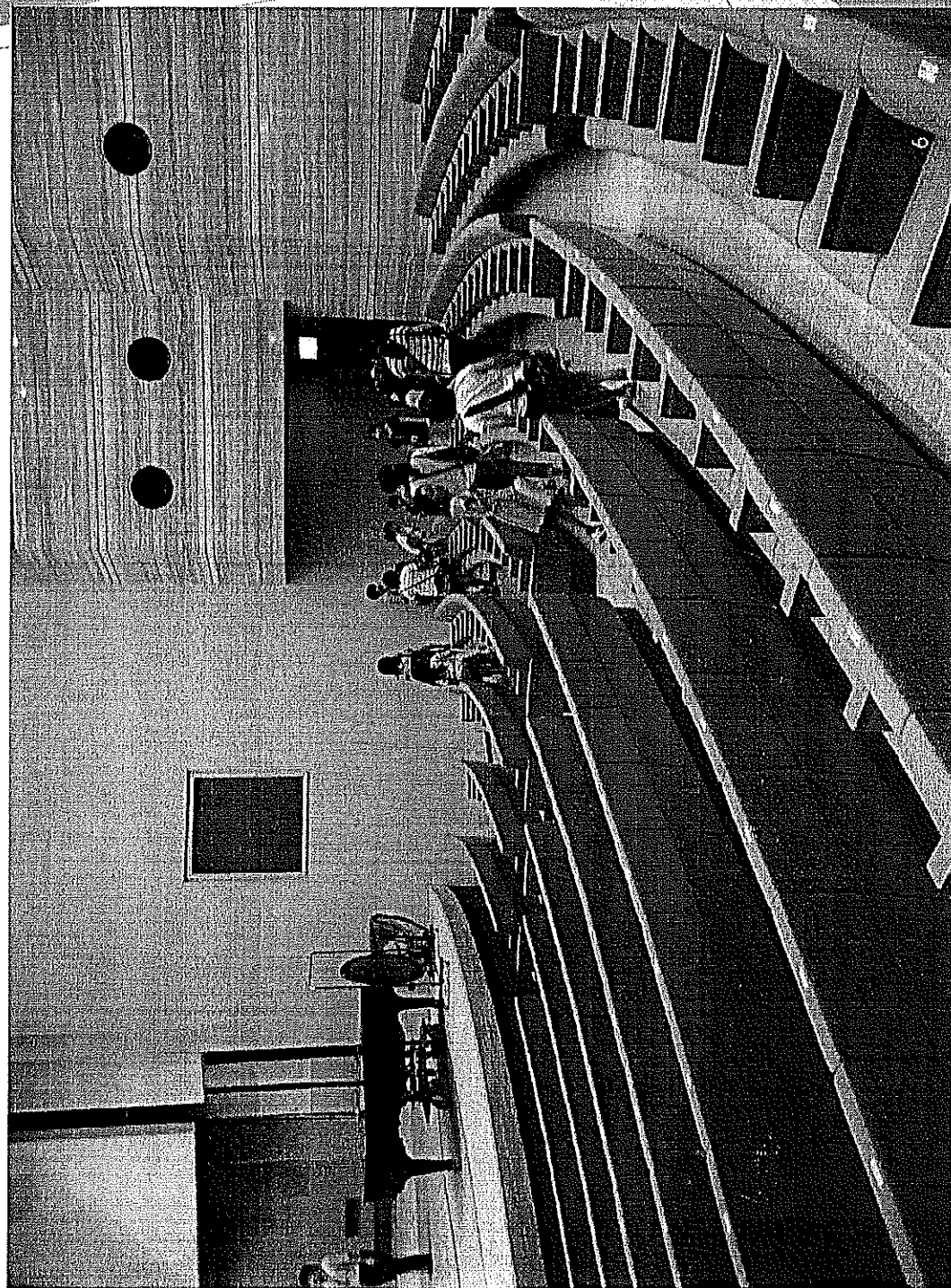


受付

開始前



其々グループに分かれて見学場所へ移動



操作体験

- 照明 (調光)、音響、奈落 (楽器)

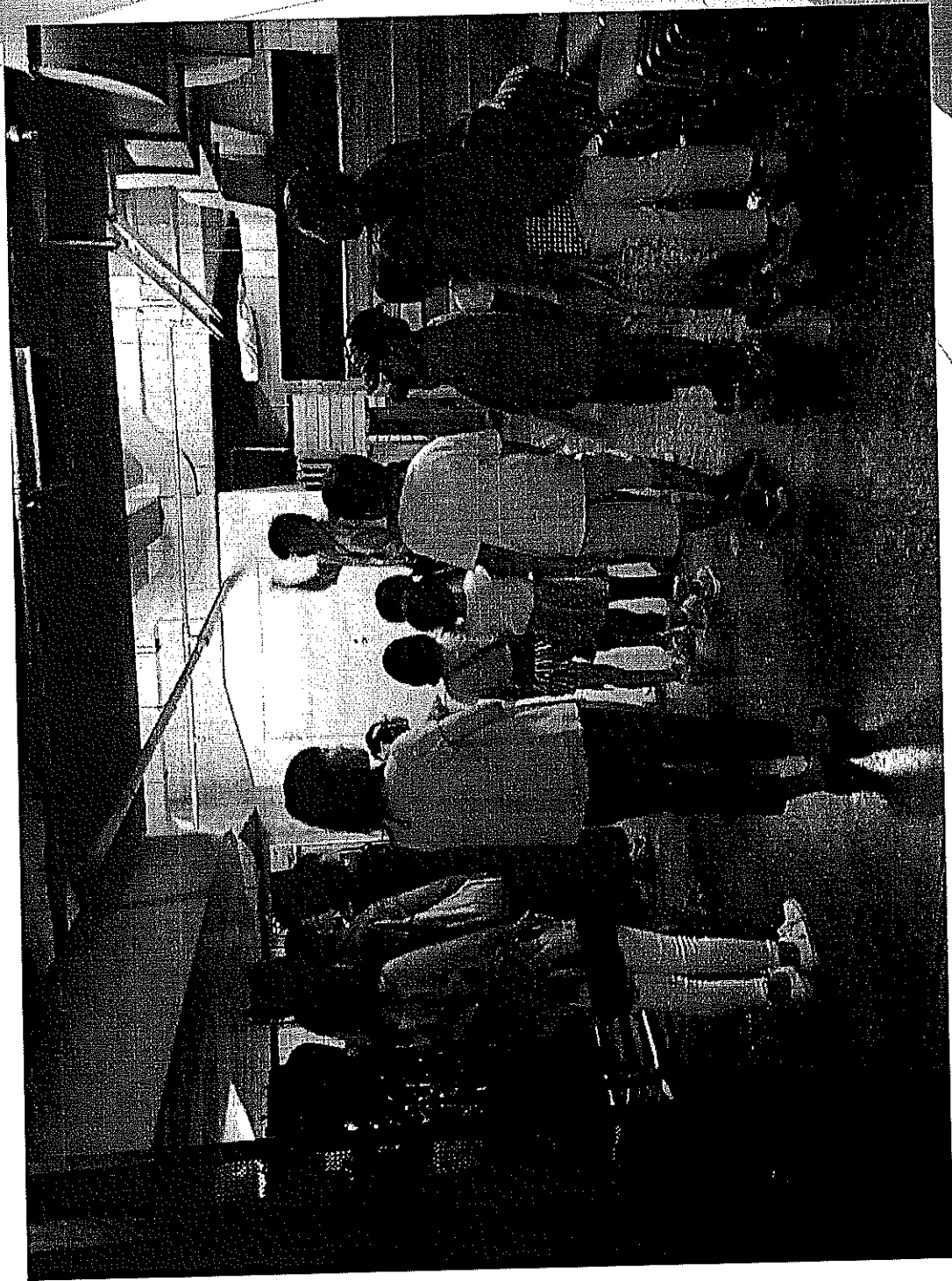
3つのグループに分け、各設備を見学する。

A班	照明	→	音響	→	奈落(楽器)
B班	音響	→	奈落(楽器)	→	照明
C班	奈落(楽器)	→	照明	→	音響

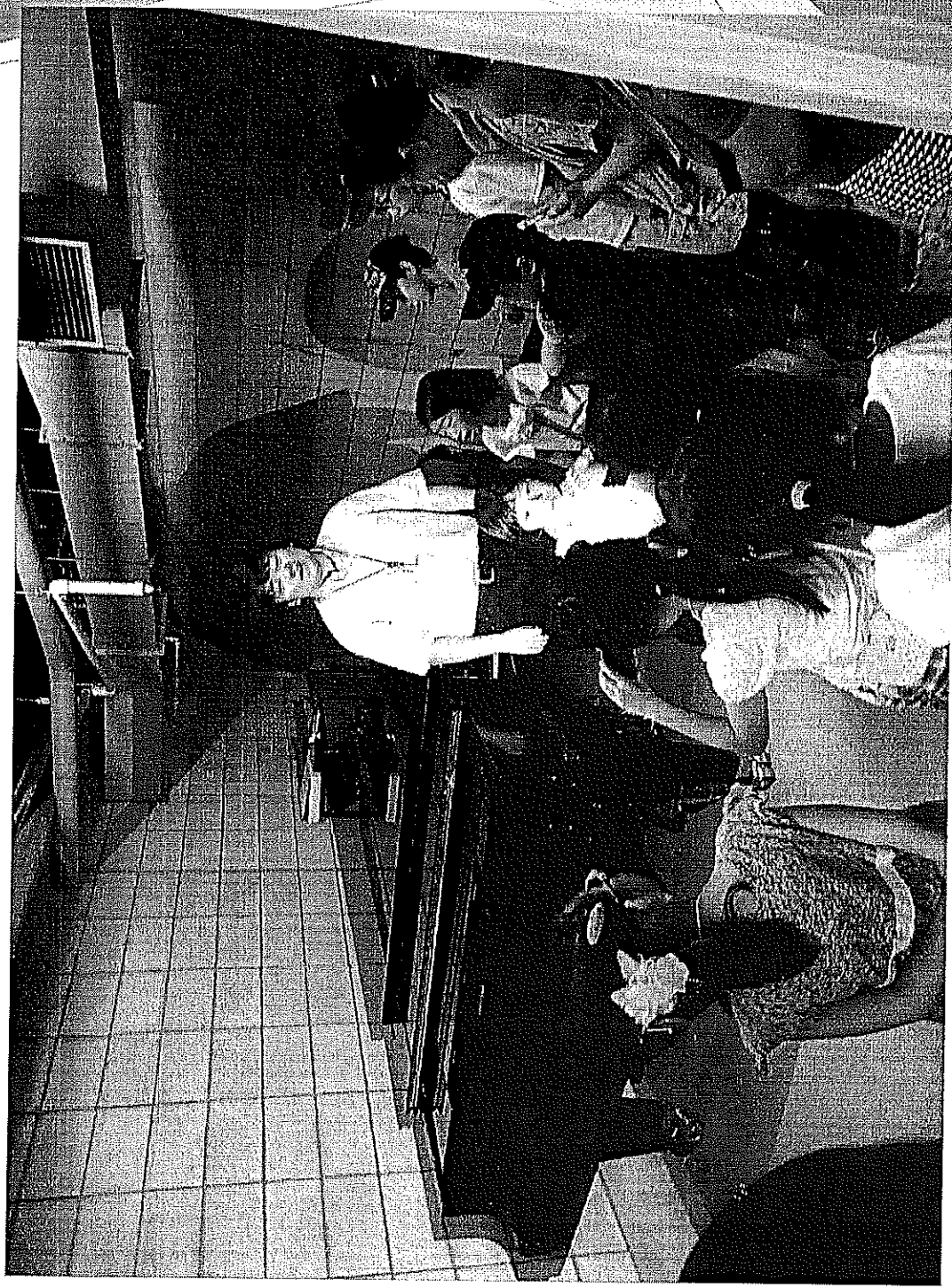
ホー儿内見学 / 奈落へ



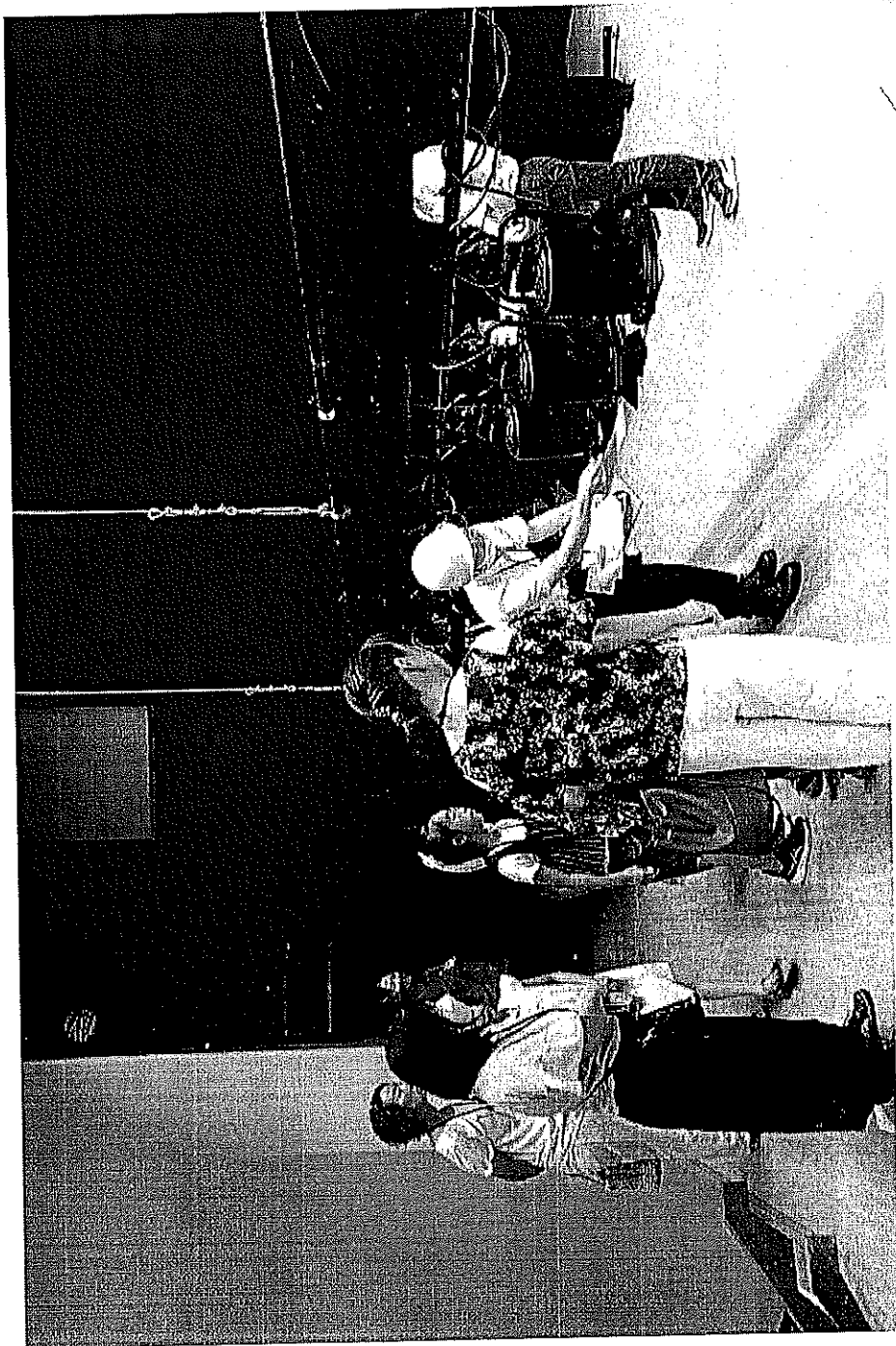
ホー儿内見学 / 奈落



ホール内見学／ピアノ庫

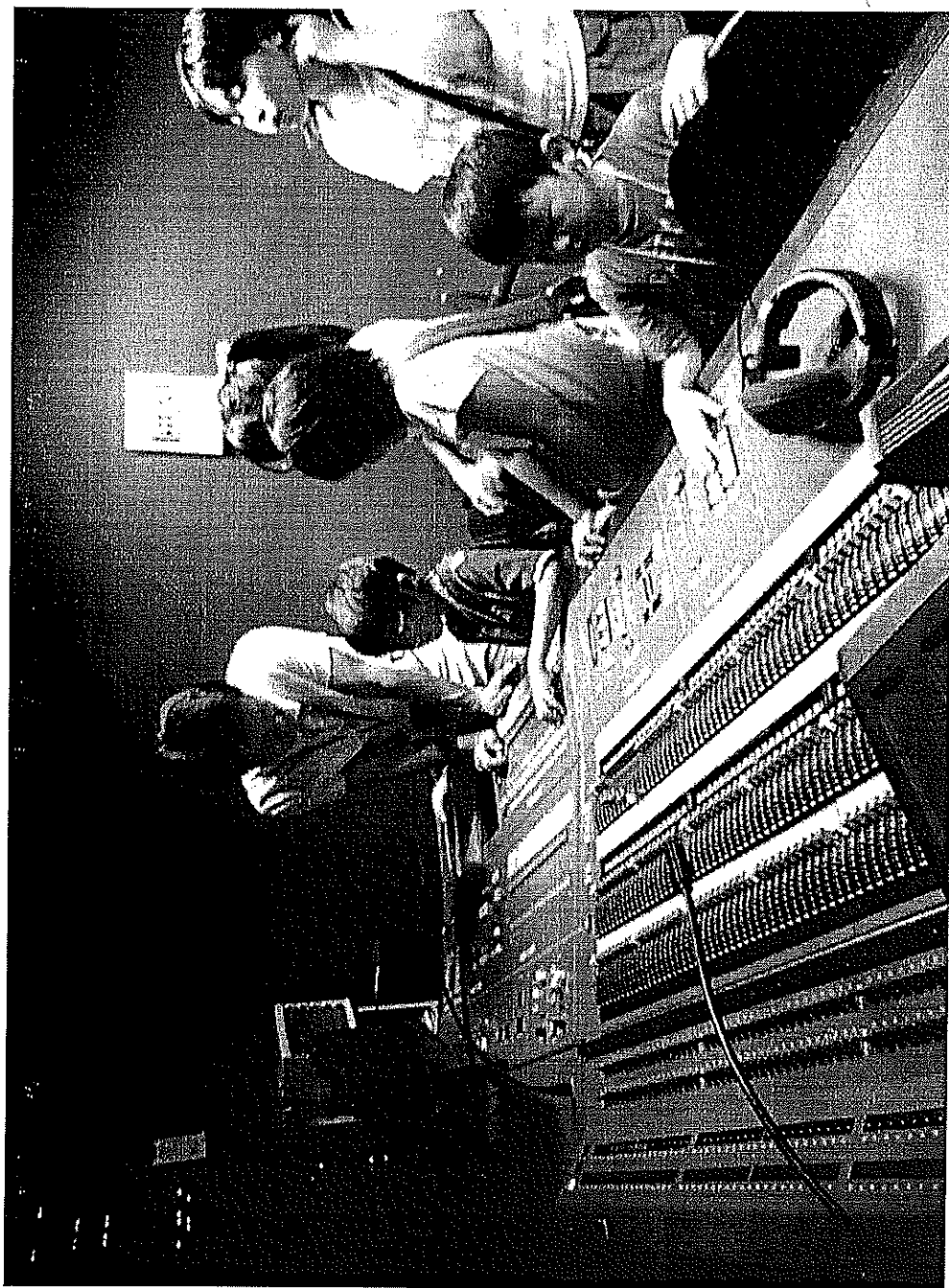


ホール内見学／照明(舞台)



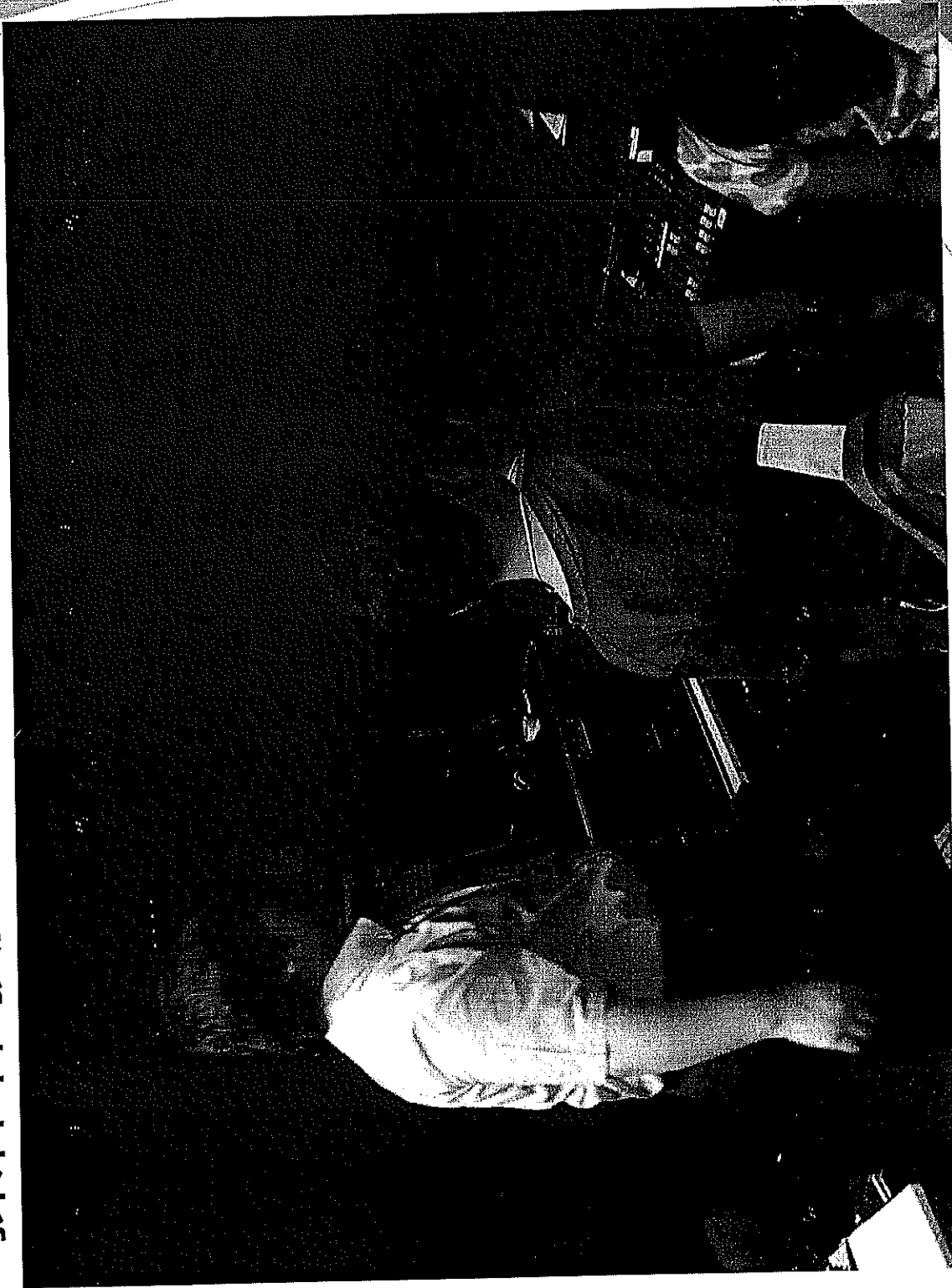
11

操作体験／照明



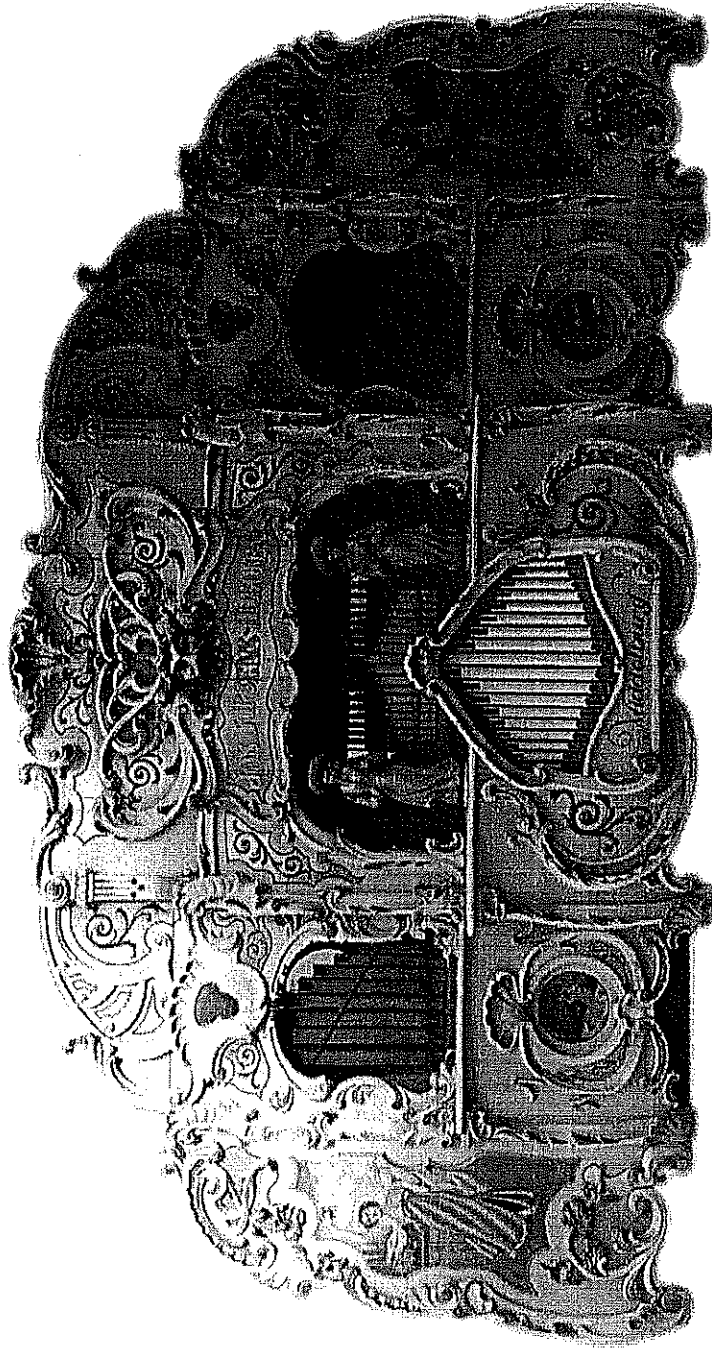
12

操作体験／音響



三三 ストリートオルガン

コンサート



ストリートオルガンは、チューリップ祭りでの小さなものしか聞いたことがなかったのに、
全部の種類のストリートオルガンが聴けて良かった。

バック・ステージ・ツアーに参加して 参加者からのコメント

言と光を別の人が操作して
るなんて以外だった。(タイム
シフトを合わせるのが大変そう)。

見学の時間もちよつとよかつ
たし、いろいろいるな所を見れてよ
かった。

ライトの色々が色になつたので
びっくりしました。
音響や調光の操作などが興味深
く面白かった。

実際に触れさせていただけたこ
と(各機材等)が地元ホーナルな
ところではの企画で素晴らしいかと
です。オンラインでは無い長さ
で可よね。

ツアー見学の時間もちよつとよ
く、いろいろいるな所を見れてよ
かった。全体の充実度に驚きま
した。丁寧に案内・説明いただ
けると思っていたのだったので感
動いたしました。

スタッフの皆さんの親切で温か
いのが何よりも良かったです。
全部の種類のスプリートオルガ
ンが揃って良かったし、知る命
がったことかたたくさんありまし
た!

バック・ステージ・ツアーを実施して

<まとめ>

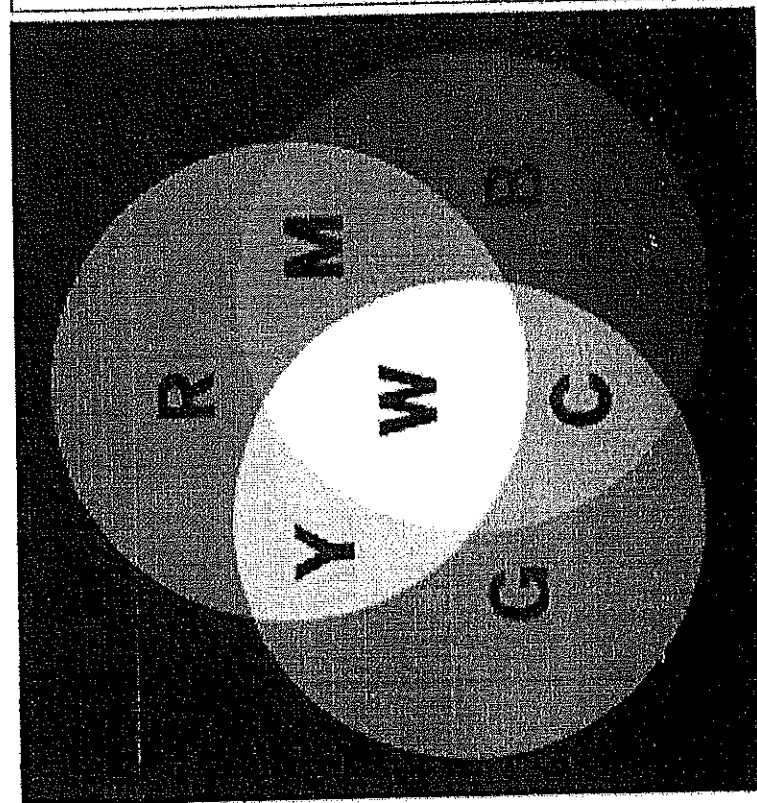
- 工夫した点
 - 其々の見学場所で操作体験などをとする為、グループに分かれての見学となりません。音響室では、近年の小学生は見たことの無いカセットテープレコーダーでの再生を行ったり、調光室では、色付きの光を混ぜて異なる色を作り出す操作を体験します。（絵具は3原色を混ぜると黒くなりませんが、光の3原色を混ぜると白くなります。）日常なかなか体験できない事を組み込んでいます。
- 成果
 - 本物の機材に触れて、操作する体験は、小学生にとって貴重な機会であり、想像とのギャップを事業後の感想で語ってくれた参加者もあり、百聞は一見に如かずの典型を實踐でき、参加者の記憶に残る体験を提供することが出来た。

• 課題

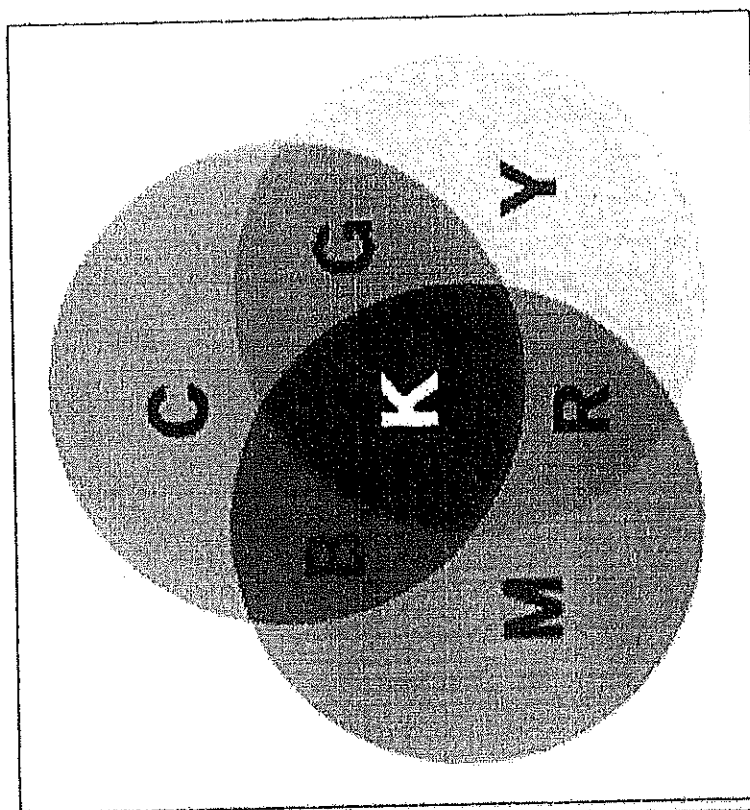
- 中学校で実施する職場体験（キャリア教育）などへ繋がって、今回の経験を基にステップアップが図られると、生徒が他人の生き方や働くことの大切さを学び、自分の生き方や将来を考える機会ともなり本事業の趣旨が生きてくると思いますが、職場体験として受け入れの体制が取れるのかが課題。

光の三原色 色の三原色

光の三原色は赤 (R: レッド) ・緑 (G: グリーン) ・青 (B: ブルー) 、色の三原色は青緑 (C: シアン) 、赤紫 (M: マゼンタ) 、黄 (Y: イエロー) です。



光の3原色



色の3原色

Q&A 生きる力につながるとは

職場体験が求められる背景と必要性 文科省:キャリア教育から抜粋

学校から社会への移行をめぐる課題

◎若者自身の資質等をめぐる課題

1. 勤労観、職業観の未熟さ
2. 社会人・職業人としての基礎的資質 ・能力の低下
3. 社会の一員としての意識の希薄さ

子どもたちの生活・意識の変容

◎子どもたちの成長・発達上の課題

1. 身体的な早熟傾向に比して、精神的・社会的自立が遅れる傾向
2. 働くことや生きることへの関心、意欲の低下

